

防府市公共施設マネジメント 基本方針（案）

平成27年 月
防 府 市

目次

1	公共施設マネジメント基本方針策定の背景と目的	1
(1)	公共施設マネジメントとは	1
(2)	公共施設マネジメント基本方針策定の背景と目的	1
(3)	公共施設マネジメント基本方針の位置付け	2
(4)	公共施設マネジメント基本方針で対象とする公共施設	2
2	防府市の公共施設を取り巻く現状と課題	3
(1)	公共施設の状況	3
(2)	人口動向	7
(3)	財政状況	9
(4)	公共施設保有量、人口及び市税収入の推移	11
(5)	将来費用の試算	12
(6)	公共施設に関する市民アンケートの結果	13
(7)	公共施設を取り巻く課題(まとめ)	18
3	公共施設マネジメント基本方針	20
(1)	公共施設マネジメントの必要性	20
(2)	公共施設マネジメント基本方針	21
(3)	取組内容	22
4	公共施設マネジメントの実践に向けて	25
(1)	公共施設マネジメント実践のロードマップ	25
(2)	公共施設マネジメントの仕組みづくりと推進体制の構築	27
(3)	公共施設保全システムの導入	30
(4)	市民参画による公共施設マネジメントの推進	30
5	公共施設マネジメント推進に向けて	31
	参考資料	
1	市民アンケート調査票	34
2	市民アンケート結果	44
3	公共施設マネジメント基本方針(素案)に関する地域説明会の実施結果	59
4	公共施設マネジメント基本方針(素案)に関するパブリックコメントの実施結果	61

1 公共施設マネジメント基本方針策定の背景と目的

(1) 公共施設マネジメントとは

公共施設マネジメントとは、本市が保有する(民間等から借用している建物を含む。)市庁舎や学校、福祉施設、市営住宅などの公共施設について、人口動向や財政状況、市民ニーズ等を踏まえつつ、施設の老朽化や利用状況、管理運営・更新コストなどを把握した上で、自治体経営の視点から総合的かつ効率的に管理・運営していく仕組みをいいます。

(2) 公共施設マネジメント基本方針策定の背景と目的

本市では、高度経済成長に伴う都市化や人口増加を背景に、公共サービスの充実に向け、これまで多くの公共施設を整備し保有してきました。しかしながら、これらの施設は、建設後 30 年を経過したものも多く、今後数十年の間に老朽化に伴う大規模な修繕、更新などの時期を迎えることから、財政的にも大きな負担となることが予測されます。また、公共施設の耐震化といった安全性の確保も重要な課題となっています。

今後、本市においては、公共施設の老朽化や耐震化への対応に加え、少子高齢化の急速な進行による人口構造の変化や市民ニーズを的確に把握し、公共施設を有効に活用していくことが求められています。

こうした課題に対し、公共施設の最適化を計画的・効果的に実現する公共施設マネジメントを実践する必要があります。

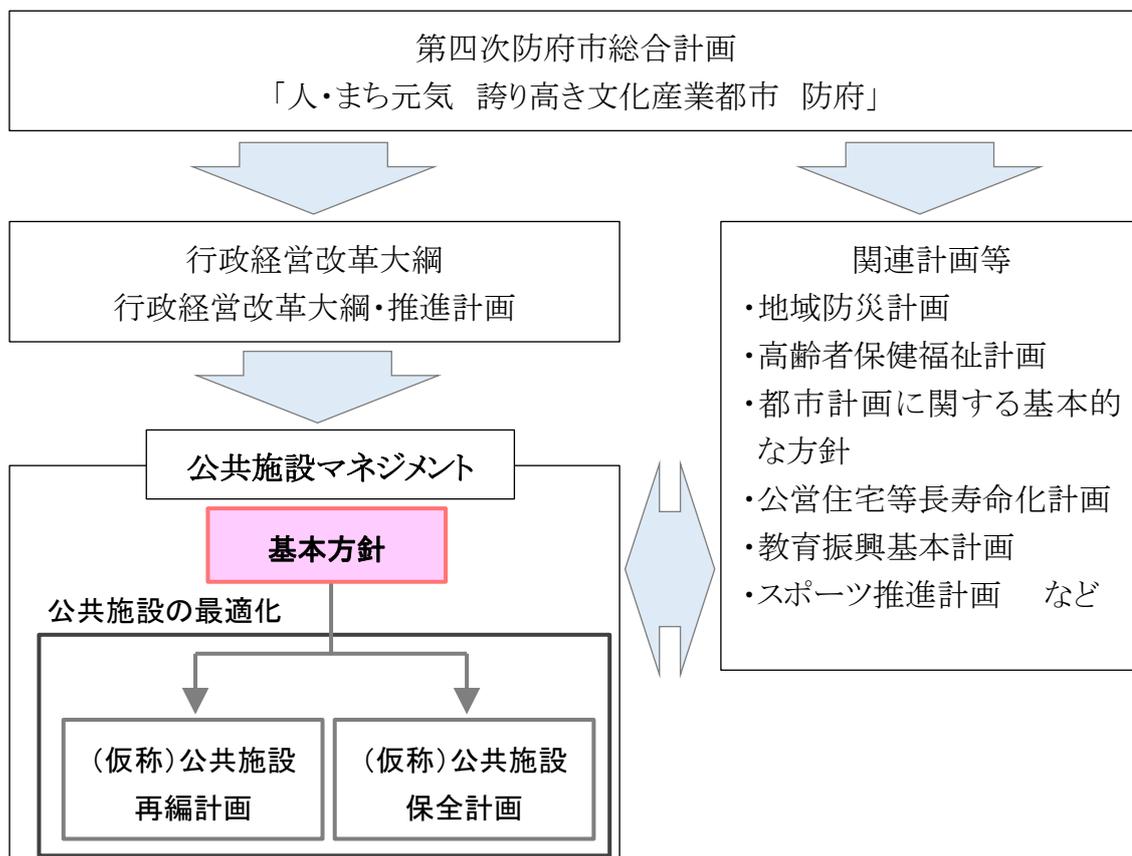
今回策定した「防府市公共施設マネジメント基本方針」は、平成 25 年度に、市が保有している公共施設について、市民利用施設*を中心に、利用状況、管理運営に要する経費、施設の老朽化・耐震化状況等を整理・分析し作成した「防府市公共施設白書」をもとに、公共施設の最適化に向けた今後の在り方を検討し、まとめたものです。今後、本書の内容を踏まえ、公共施設の在り方について議論を深め、限られた財源や資産をより有効に活用していくための具体的な検討につなげていくこととなります。

*市民利用施設・・・防府市公共施設白書において、広く市民が利用している施設として選定した施設

(3) 公共施設マネジメント基本方針の位置付け

本方針は、防府市行政経営改革大綱・推進計画の取組の1つである「公共施設の最適化」の基本方針と位置付けられるものであり、都市計画に関する基本的な方針その他の各分野別計画との整合性の確保を図りつつ、第四次防府市総合計画に定める将来都市像「人・まち元気 誇り高き文化産業都市 防府」の実現を目標としています。

本方針に基づき、今後、「(仮称)公共施設再編計画」及び公共施設の長寿命化に焦点を当てた「(仮称)公共施設保全計画」を策定し、取組施策や推進体制等について具体化を図ります。



(4) 公共施設マネジメント基本方針で対象とする公共施設

本方針においては、平成25年度に作成した「防府市公共施設白書」と同様、市が保有する建物(民間等から借用している建物を含む。)を有する施設を公共施設として定義します。

ただし、以下の施設、建物は除きます。

- ・道路、橋りょう、上下水道などのインフラ施設*
- ・文化財
- ・市以外の団体等に貸付をしている建物

* インフラ施設…道路、橋りょう、上下水道など、市民生活と社会経済活動を支える生活基盤や産業基盤であり、公共施設関連の建物を除く施設(「防府市公共施設白書」4 経常修繕、大規模修繕及び更新に係る将来費用 (3)インフラ施設等の将来費用参照)

※公共施設マネジメントの対象外としているインフラ施設については、道路、橋りょう、上下水道などの施設ごとの個別計画を別途策定していきます。また、今後、公共施設マネジメントにおいて策定する2つの計画((仮称)公共施設再編計画・(仮称)公共施設保全計画)とインフラ施設の各個別計画を統合・調整することにより、総務省が地方公共団体に作成を要請している「公共施設等総合管理計画」を平成28年度までに策定する予定です。

2 防府市の公共施設を取り巻く現状と課題

(1) 公共施設の状況

① 整備状況

本方針で対象とする公共施設の数、326施設、1,398棟、延床面積の合計は43万3907.78㎡(平成25年4月1日現在)となっています。

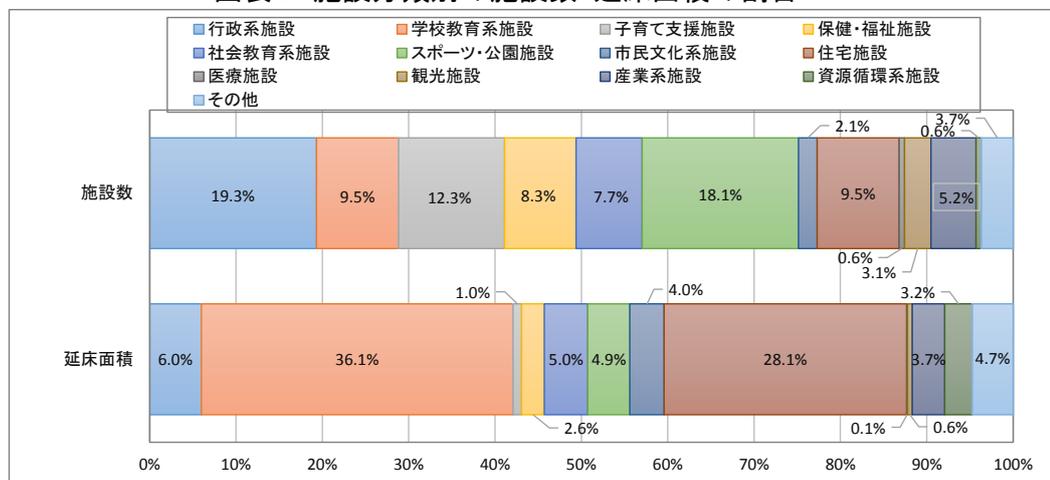
施設分類別で見ると、延床面積では学校教育系施設と住宅施設の割合が大きく、学校教育系施設と住宅施設を合わせると総延床面積の64.2%を占めています。

図表1 公共施設数量

大分類	中分類	施設数	棟数	延床面積(㎡)	代表的な施設
行政系施設	庁舎等	11	52	18,339.75	市役所、出張所
	消防施設	17	23	7,227.33	消防庁舎、消防署出張所
	防災施設	34	34	371.15	防災倉庫、水防倉庫
	その他行政系施設	1	1	70.00	プラント倉庫
学校教育系施設	学校	28	450	154,146.76	小学校、中学校
	その他学校教育系施設	3	5	2,491.73	学校給食センター
子育て支援施設	認定こども園・幼稚園・保育所	3	7	2,397.38	保育所
	幼児・児童施設	28	28	1,854.43	留守家庭児童学級、児童館
	児童遊園	9	9	47.61	児童遊園
保健・福祉施設	高齢者福祉施設	15	31	1,693.58	老人憩の家
	障害者福祉施設	5	22	3,911.18	愛光園、大平園
	保健施設	1	2	1,274.91	保健センター
	その他保健・福祉施設	6	11	4,543.06	福祉センター、中高年齢労働者福祉センター
社会教育系施設	図書館	1	2	3,132.41	防府図書館
	博物館等	2	4	6,319.14	青少年科学館、文化財郷土資料館
	公民館・学習等供用会館	16	32	10,968.93	文化センター、公民館(学習等供用会館)
	その他社会教育系施設	6	8	1,422.33	勤労青少年ホーム、海洋民俗資料収蔵庫
スポーツ・公園施設	スポーツ・レクリエーション施設	11	30	19,696.38	スポーツセンター、向島運動公園
	公園施設	47	70	976.28	公園の公衆便所、東屋、作業所等
	その他スポーツ・公園施設	1	7	477.16	花木センター
市民文化系施設	集会施設	3	3	410.50	右田会館、大日会館、北山手会館
	文化施設	2	4	13,392.59	公会堂、地域交流センター
	その他市民文化系施設	2	2	3,418.89	地域協働支援センター、天神ピア
住宅施設	市営住宅・市有住宅	31	378	121,789.93	田島住宅、坂本住宅、清水川住宅
医療施設	医療施設	2	3	478.02	休日診療所、野島診療所
観光施設	観光施設	6	29	2,287.23	大平山索道及び観光施設、まちの駅
	その他観光施設	4	5	161.04	阿弥陀寺公衆便所、毛利氏庭園公衆便所
産業系施設	産業系施設	17	61	16,262.97	青果物地方卸売市場、水産総合交流施設
資源循環系施設	資源循環系施設	2	26	13,819.75	クリーンセンター、一般廃棄物最終処分場
その他	その他	12	59	20,525.36	斎場、競輪場
総計		326	1,398	433,907.78	

【出典】防府市公共施設白書

図表2 施設分類別の施設数・延床面積の割合



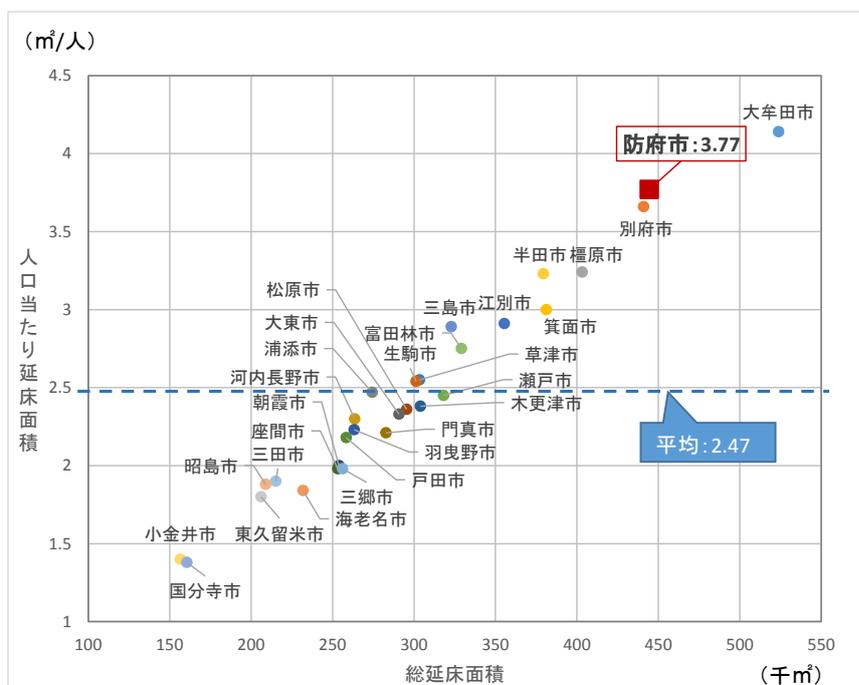
※端数処理において数値の合計が合わない場合や、比率の合計が100%とならない場合がある。

【出典】防府市公共施設白書

② 他自治体との比較

本市の公共施設延床面積は、市民一人当たり3.77 m²となっており、人口が同規模(11万人～13万人)で平成の大合併が行われていない自治体と比較すると、市民一人当たりの平均である 2.47 m²/人(防府市以外)より大きくなっています。

図表3 他自治体との公共施設延床面積(市民一人当たり)の比較



※「全国自治体公共施設延床面積データ」(東洋大学 PPP 研究センター、H24.1)を基に作成

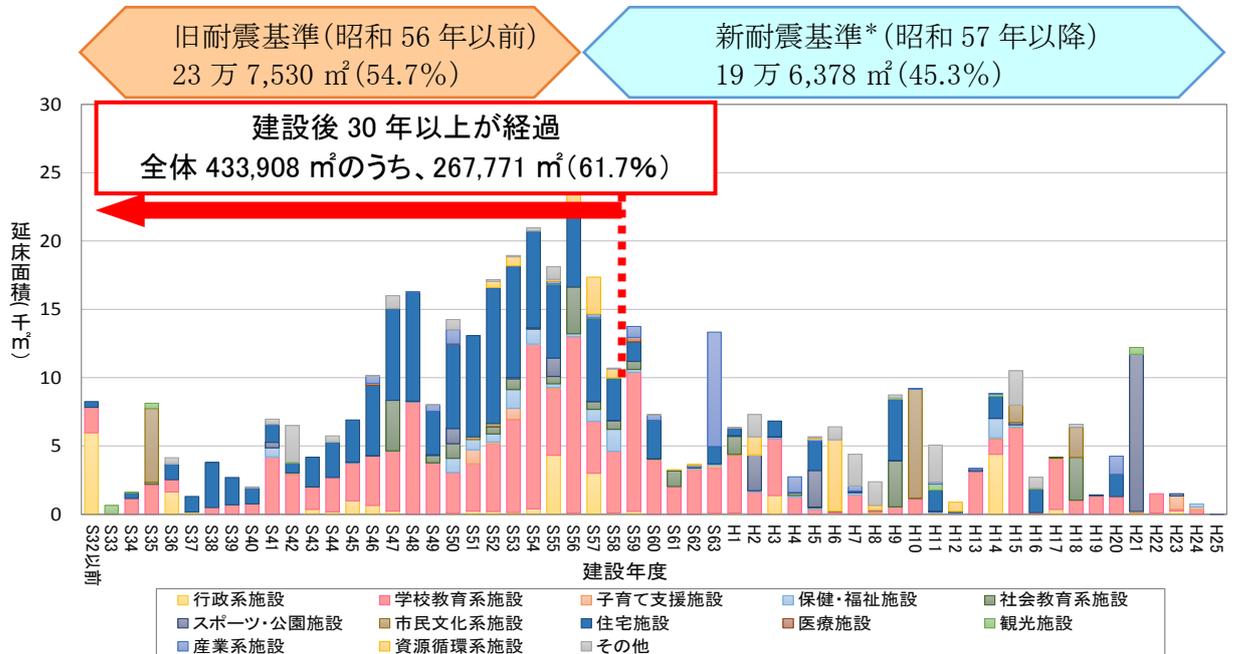
※「防府市公共施設白書」とは、データの出典や調査年度が異なるため、公共施設延床面積、市民一人当たりの延床面積の数値は一致しない。

③ 建設年度別分布及び耐震化状況

a) 建設年度別分布

本市の公共施設の総延床面積(約 43 万㎡)のうちの約 62%が、建設後 30 年以上経過しており、10 年後その割合は約 78%に達します。

図表4 建設年度別に見た施設分類別延床面積



【出典】防府市公共施設白書

* 耐震基準…中規模の地震(震度 5 強程度)に対してはほとんど損傷を生じず、極めて稀にしか発生しない大規模の地震(震度 6~7 程度)に対しても人命に危害を及ぼすような倒壊等の被害を生じない事を目標としている現行の耐震基準

b) 耐震化状況

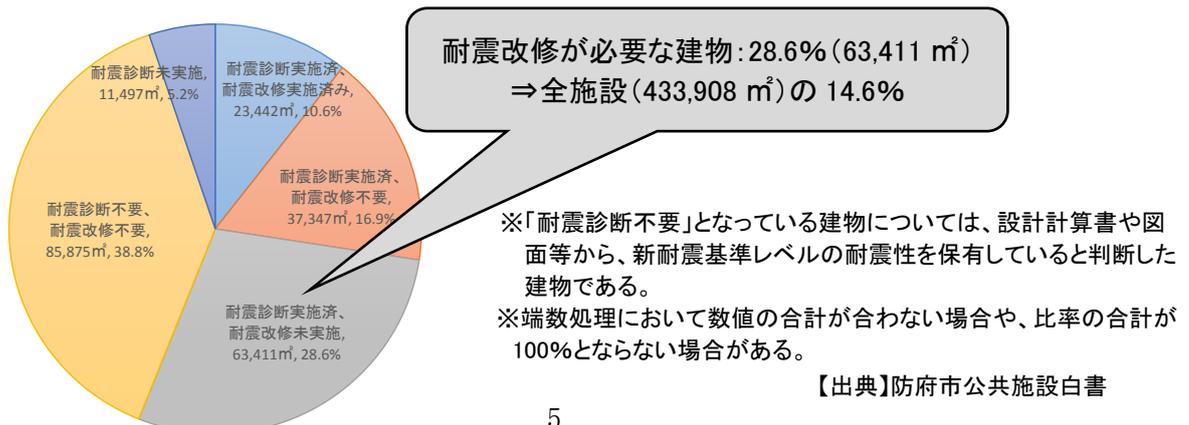
本市における、耐震化対象建物*の総延床面積は 221,571 ㎡であり、全施設の総延床面積 433,908 ㎡の 51.1%を占めています。

そのうち、耐震改修が必要な建物の延床面積の比率は、耐震化対象建物の 28.6% (63,411 ㎡)、全施設の 14.6%を占めています。

* 耐震化対象建物…「市有施設の耐震化基本方針」(平成 15 年 11 月 防府市)に基づき、以下の条件のいずれかに該当する建物

- ①200 ㎡以上で旧耐震基準(昭和 56 年度以前に建設された)の建物
- ②非木造かつ2階建て以上で、旧耐震基準(昭和 56 年度以前に建設された)の建物

図表5 耐震診断・改修の実施状況(延床面積による割合)



④ コストの状況

a) 公共施設全体の収入

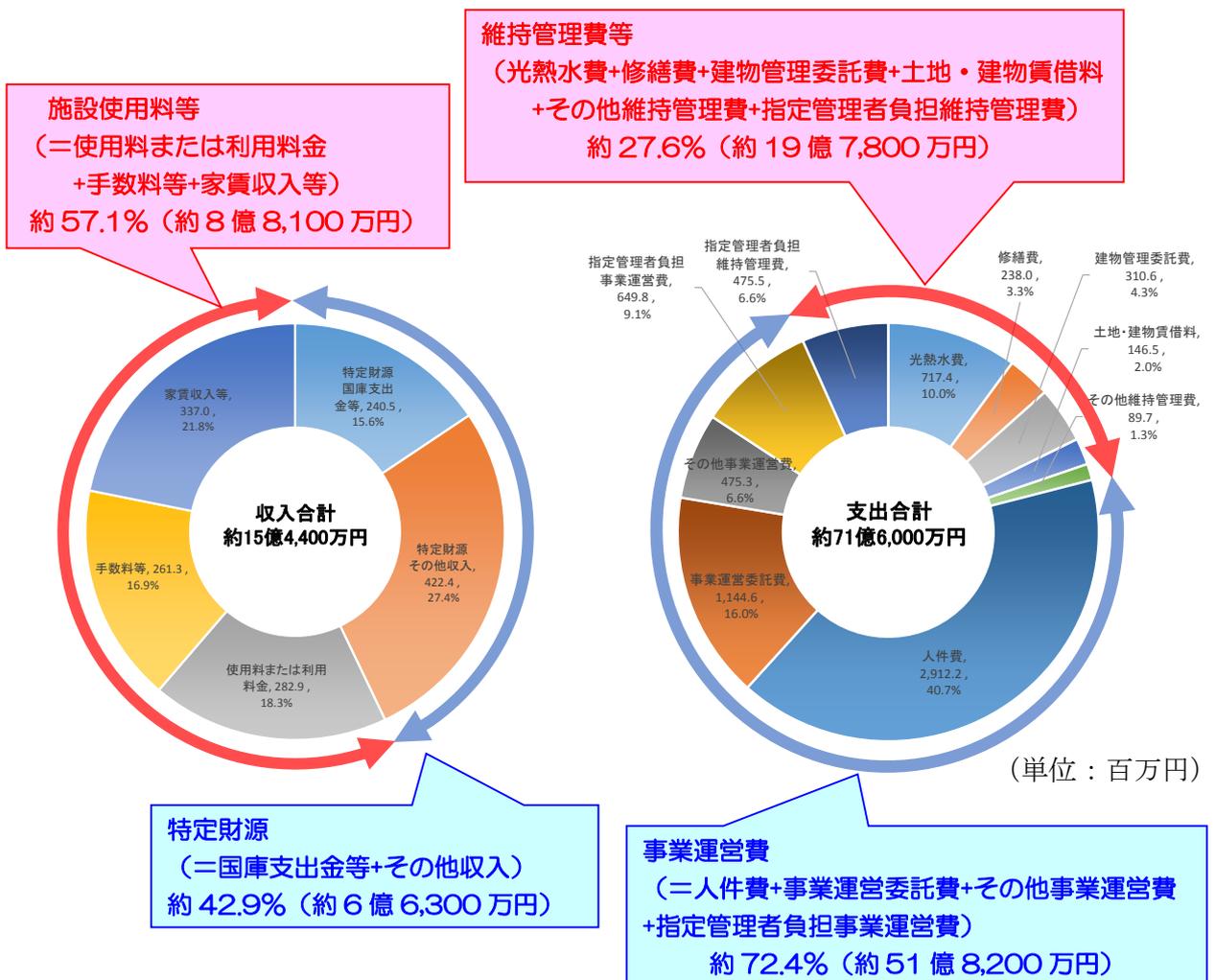
公共施設全体の収入は、年間約 15 億 4,400 万円となっています。

なお、収入のうち、使用料または利用料金、手数料等、家賃収入等といったいわゆる施設利用で得られる収入が、全体の 57.1% (約 8 億 8,100 万円) となっています。

b) 公共施設全体の支出

公共施設を保有することで、維持管理や事業運営に係る経常的な支出が発生しています。公共施設全体の支出は、年間約 71 億 6,000 万円であり、収入(年間約 15 億 4,400 万円)の 4.6 倍となっています。

図表6 公共施設全体の収支



※収入・支出については、平成 22 年度～24 年度の 3 年間の平均値である。

※競輪場の収入、支出については除く。

※維持管理費のうち、工事請負費は毎年度持続して固定的に支出される経常的経費ではないため除く。

※端数処理において数値の合計が合わない場合や、比率の合計が 100%とならない場合がある。

【出典】防府市公共施設白書

(2) 人口動向

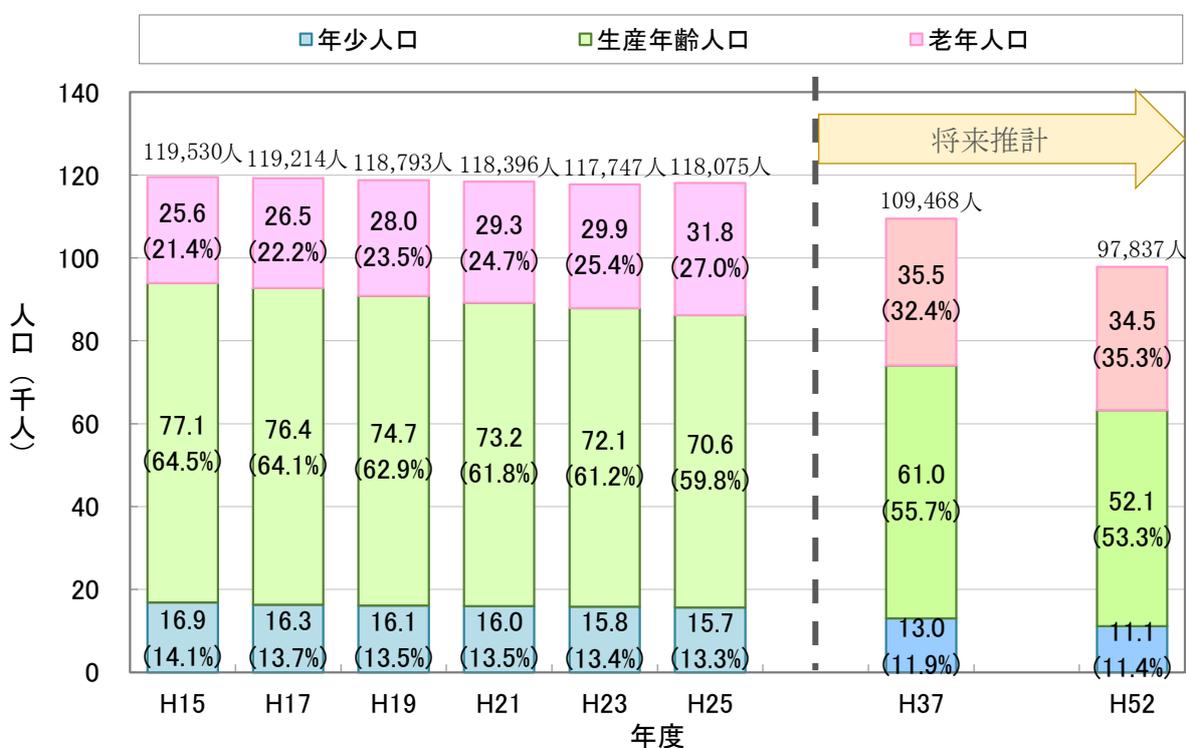
① 総人口・年齢階層別人口の推移及び将来人口

本市の総人口は、平成25年10月現在では118,075人であり、平成15年の119,530人の98.7%となっており、緩やかな減少傾向にあります。

平成15年から平成25年までの過去10年間で、老年人口は約1.2倍に増加し、平成25年には人口のおおむね4人に1人は65歳以上の高齢者となっています。一方、生産年齢人口は91.5%、年少人口は93.0%に減少し、少子高齢化が進んでいます。

また、本市の総人口は、平成52年度までの約30年間で約9.8万人まで減少すると推計されており、年齢階層別に見ると、老年人口の占める割合が約35%まで増加するとともに、年少人口は約11%まで減少し、人口減少・少子高齢化が一層進行する見通しです。

図表7 年齢階層別人口の推移



参照：毎年10月1日現在の住民基本台帳人口から算出（ただし、平成25年は外国人を含む。）平成37年及び平成52年については、国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口」平成25年（2013年）3月推計

※年少人口…0歳～14歳の人口、生産年齢人口…15歳～64歳の人口、老年人口…65歳以上の人口

※端数処理において数値の合計が合わない場合や、比率の合計が100%とならない場合がある。

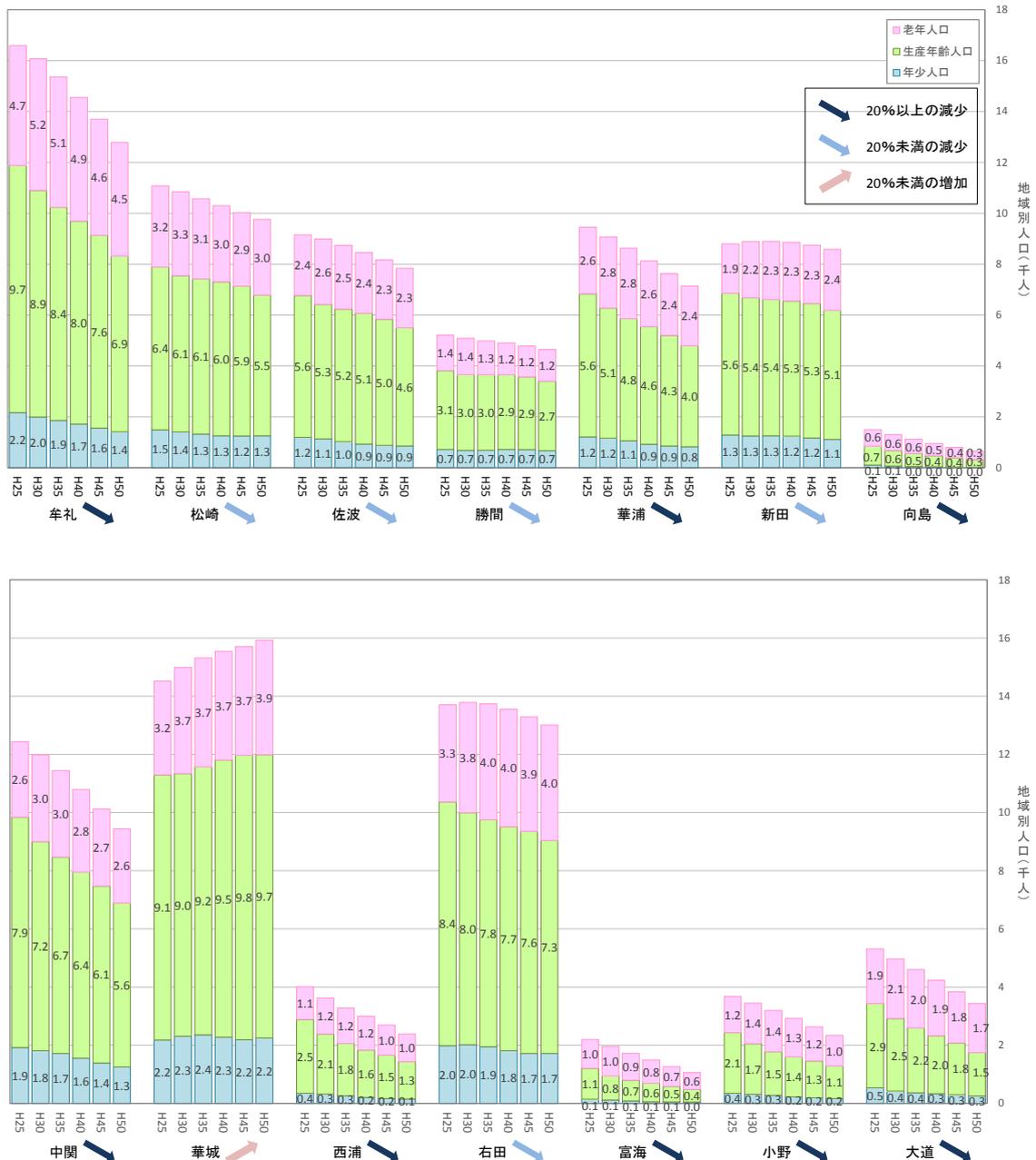
② 地域別将来人口

地域別の将来人口推計結果を見ると、平成25年度から平成50年度までの25年間で、華城地域を除く全ての地域で人口は減少傾向にあり、人口推計を行った14地域*のうち、8地域(牟礼地域、華浦地域、向島地域、中関地域、西浦地域、富海地域、小野地域、大道地域)で人口減少率が高い結果となっています。

老年人口の推移を見ると、新田地域、華城地域については増加しており、その他の地域では総人口の減少に伴い減少しています。

*14地域…野島地域については、将来人口推計を実施していない。

図表8 地域別年齢3区分別将来人口推計結果



※コーホート変化率法による算出
 ※年少人口…0歳～14歳の人口
 ※生産年齢人口…15歳～64歳の人口
 ※老年人口…65歳以上の人口

【出典】防府市公共施設白書

(3) 財政状況

本市は、今後、人口減少、少子高齢化等による税収の低下や社会保障費の増大が見込まれることから、厳しい財政状況になることが予測されます。

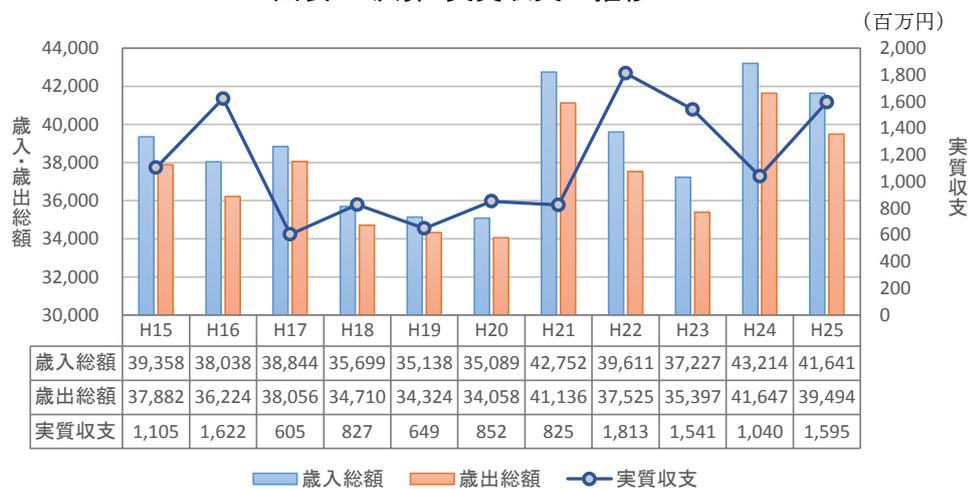
さらに、公共施設やインフラ施設の維持補修・更新の需要が高まり、その財源が必要となりますが、それを市債等によって賄えば、市債現在高の更なる増加による財政の健全性低下を招くため、財源の確保が困難な状況になることが予測されます。

① 歳入・歳出の推移・内訳

本市の財政規模を普通会計ベースで見ると、平成 25 年度では、歳入総額は約 416 億円、歳出総額は約 395 億円となっています。

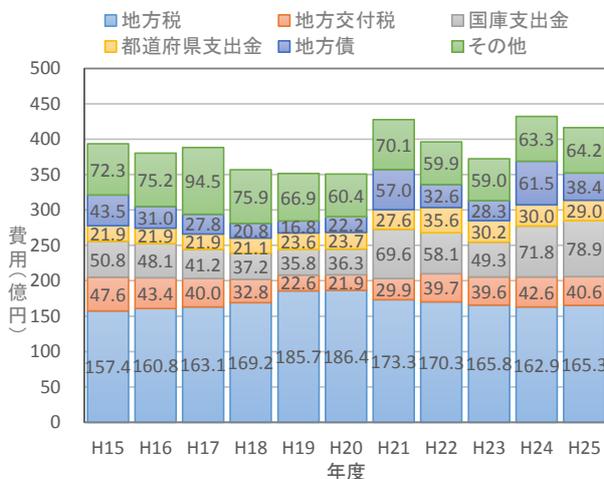
実質収支を見ると、近年では比較的高い金額で推移しており、平成 25 年度では約 16 億円となっています。

図表9 決算・実質収支の推移

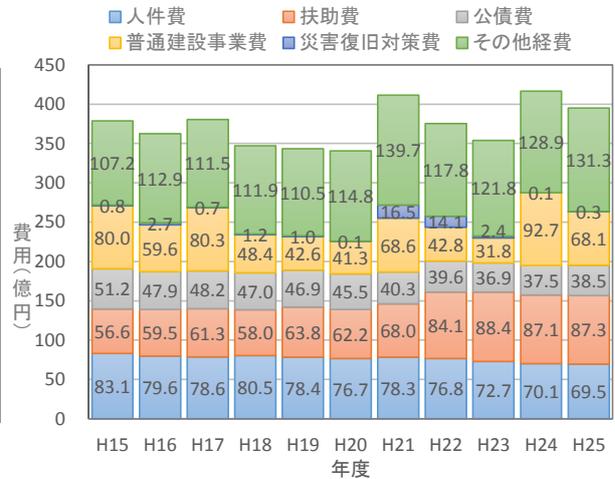


【出典】平成 25 年度普通会計決算状況(防府市財政課)

図表 10 歳入の費目構成



図表 11 歳出の費目構成

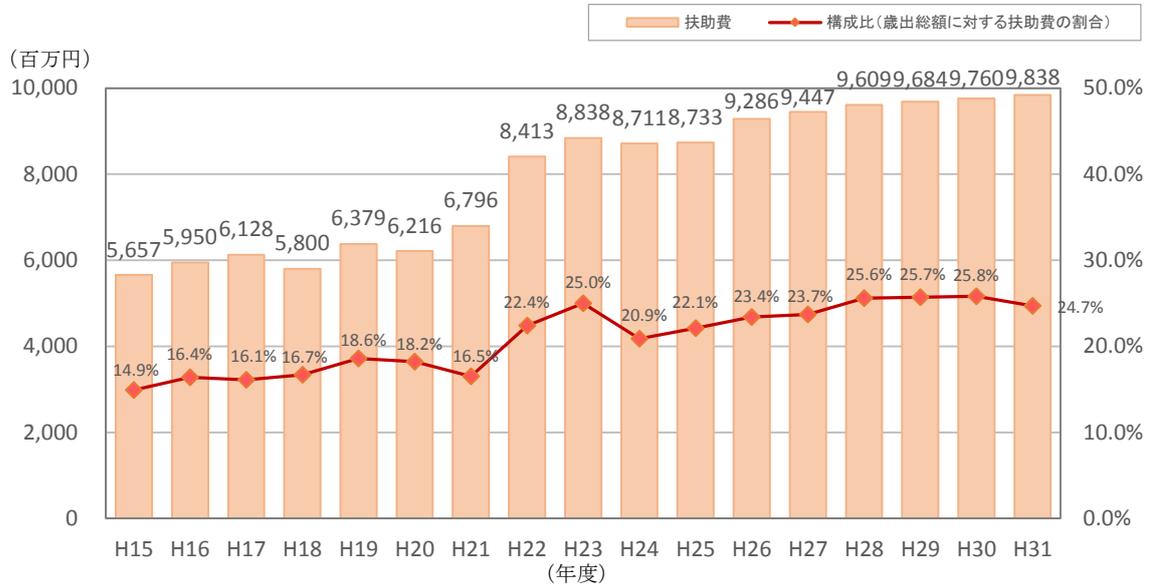


【出典】平成 15～25 年度決算カード(防府市財政課)

② 扶助費の推移

高齢化等により扶助費は増加しています。特に、国立社会保障・人口問題研究所による「日本の地域別将来推計人口」(平成 25 年 3 月推計)では、平成 25 年度から平成 37 年度までに老年人口が約 4,400 人増加すると予測されており(7 ページ図表 7 参照)、高齢者福祉に関する費用は増加すると見込んでいます。

図表 12 扶助費の推移

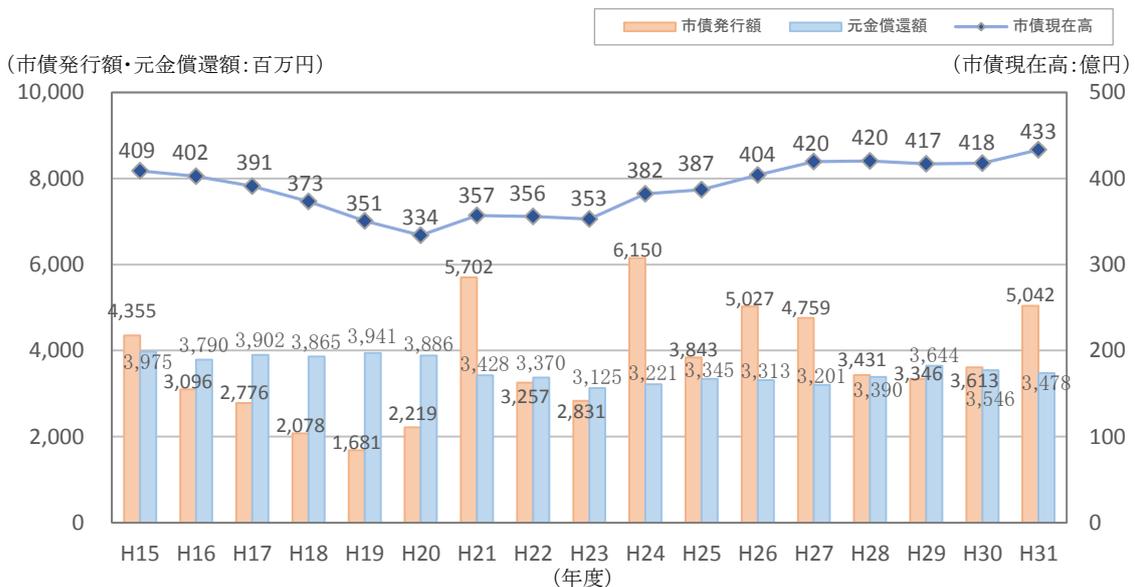


【出典】平成 25 年度までは地方財政状況調査表、平成 26 年度は当初予算額、平成 27 年度以降は防府市中期財政計画(平成 27 年度～平成 31 年度)(防府市財政課)

③ 市債現在高の推移

借入金の残高である市債現在高の推移を見ると、平成 20 年度までは減少傾向にあり、平成 21 年度に増加した後、横ばいで推移していましたが、平成 24 年度には、廃棄物処理施設建設事業等の大型事業の実施により、市債発行額が大幅に増加しています。

図表 13 市債現在高の推移



【出典】平成 25 年度までは地方財政状況調査票、平成 26 年度以降は防府市中期財政計画(平成 27 年度～平成 31 年度)(防府市財政課)

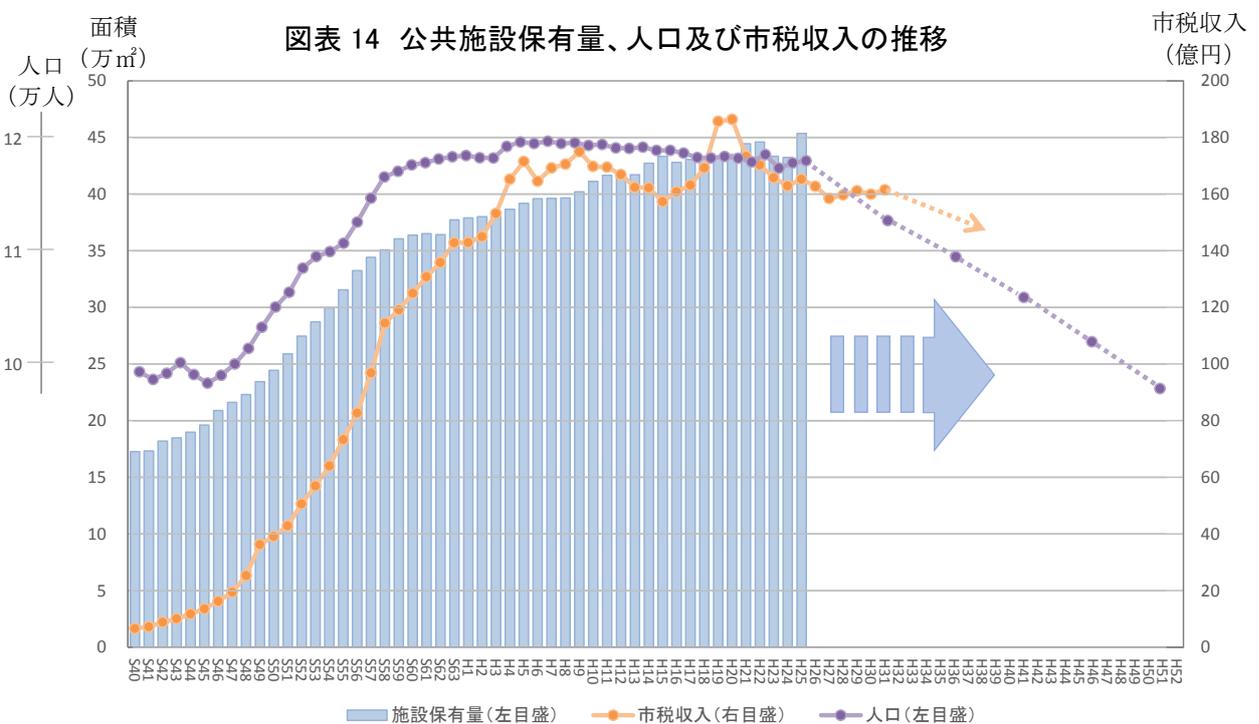
(4) 公共施設保有量、人口及び市税収入の推移

本市の公共施設は、昭和40年代後半から昭和50年代にかけて、人口増加及び市税収入の着実な増加傾向の下でその多くが整備されてきました。

しかし、人口は平成に入り約12万人まで増加したのち、現在まで微減傾向が続いています。将来推計人口においては、更に今後も減少を続け、平成25年度から平成52年度までの27年間で約9.8万人まで減少すると推計されています(7ページ図表7参照)。

市税収入については、平成に入ってから増減があるものの約160～180億円の間で推移していますが、今後は人口減少に合わせて減少していくものと考えられます。そのような状況においても、公共施設保有量は現在も微増傾向にあります。

今後の人口減少及び税収減の状況における公共施設保有の在り方を見直すべき転換点にあるといえます。



【出典】公共施設保有量：財産に関する調書

人口：平成25年までは住民基本台帳、平成26年以降は国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口」平成25年(2013年)3月推計

市税収入：平成25年度までは地方財政調査表、平成26年度は当初予算額、平成27年度以降は防府市中期財政計画(平成27年度～平成31年度)

(防府市財政課)

(5) 将来費用の試算

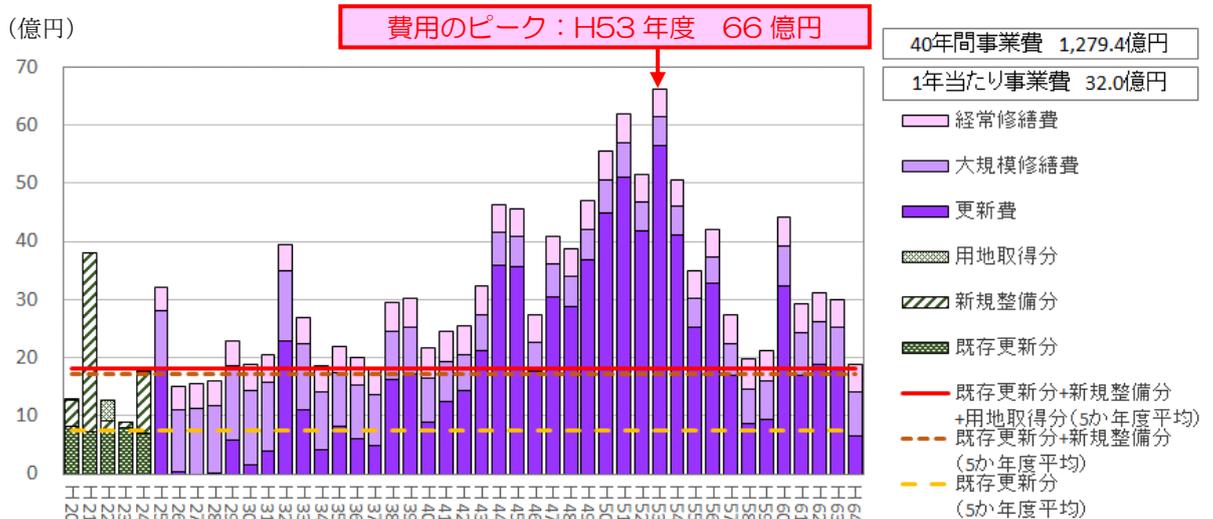
本市では、建設後30年以上経過し、老朽化が懸念されている施設(建物棟別)が全体の61.7%を占めています。

全ての施設を現行の状態を更新した場合の今後40年間(平成25年度～平成64年度)の経常修繕*、大規模修繕*及び更新に係る将来費用を設定した条件により試算した結果、平成40年代前半から急増し、平成53年度のピーク時には66億円の費用がかかり、今後40年間の総費用は1,279億4,000万円、1年当たりの平均費用は32億円となる試算結果となりました。

平成20年度から平成24年度までの公共施設に係る投資的経費*の実績値から求めた5か年の平均値(約7億5,000万円)と比較すると、毎年約24億5,000万円が不足することが見込まれます。

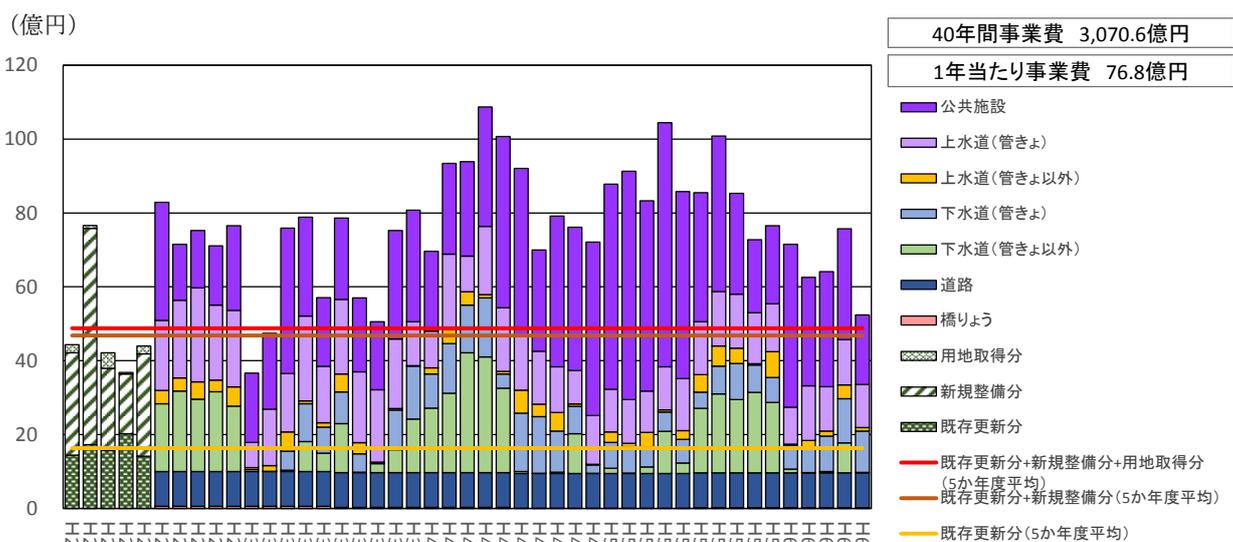
また、公共施設とインフラ施設の将来費用の合計(総事業費)を見ると、40年間で3,070億6,000万円となり、年間76億8,000万円の費用がかかる結果となりました。

図表 15 将来費用の推計【公共施設】



【出典】防府市公共施設白書

図表 16 総事業費の将来推計【公共施設+インフラ施設】



【出典】防府市公共施設白書

- * 経常修繕…経年による設備の劣化や建物躯体の損傷に対して、経常的に実施する修繕
- * 大規模修繕…経年により設備や建物躯体に著しい損傷が生じた場合に行う、大規模な工事等による修繕
- * 投資的経費…支出の効果が資本の形成のためのものであり、将来に残る施設を整備するための経費

(6) 公共施設に関する市民アンケートの結果

本方針を策定するに当たり、市民の公共施設の利用状況や公共施設の在り方に対する考え方などを把握するため、市民アンケートを実施しました。

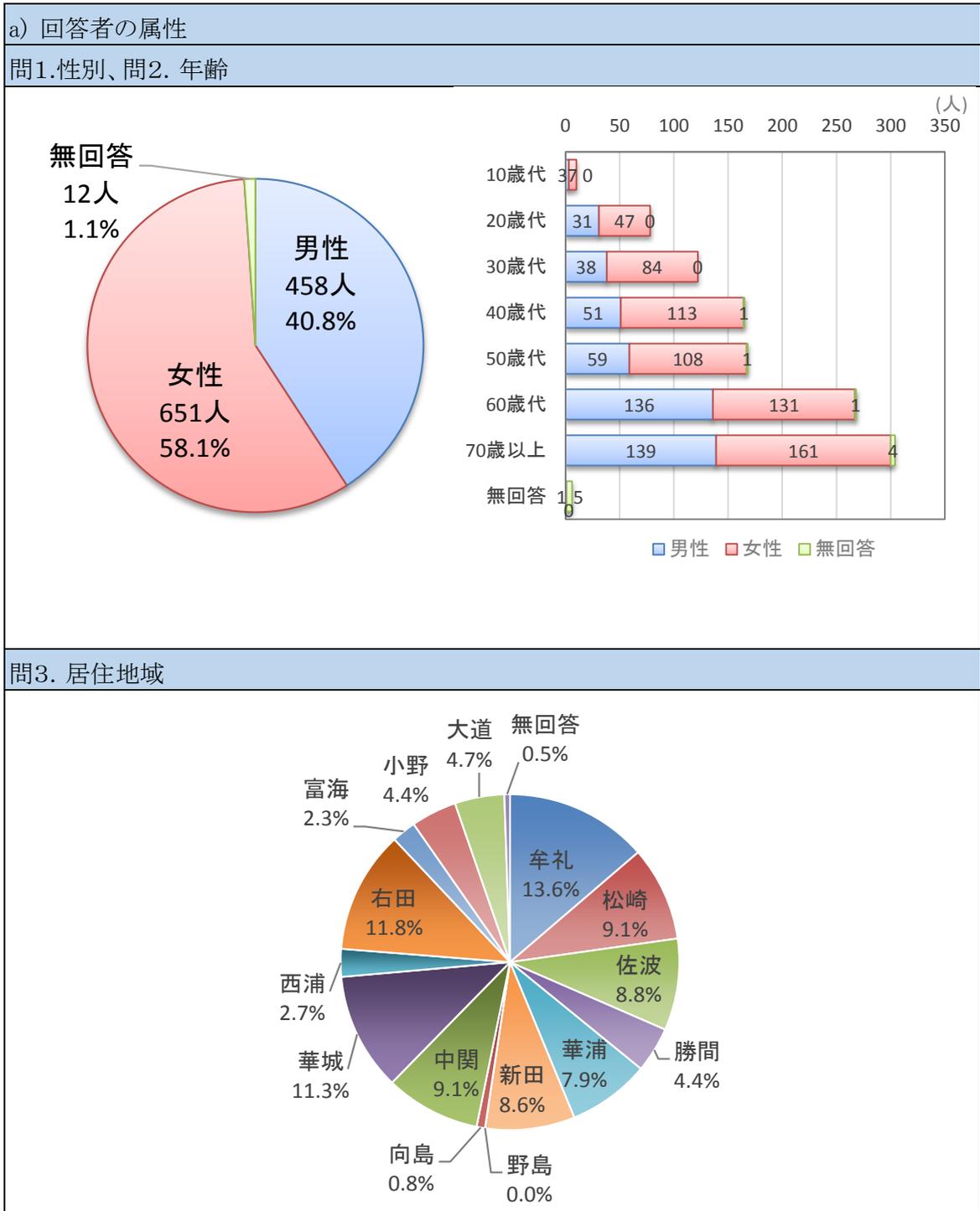
① アンケートの概要

調査期間:平成 26 年 8 月 26 日(火)～9 月 10 日(水)

調査対象:平成 26 年 8 月 1 日現在、市内在住の 18 歳以上の方から 3,000 人を無作為抽出

有効回答者数:1,121 人(回収率 37.4%)

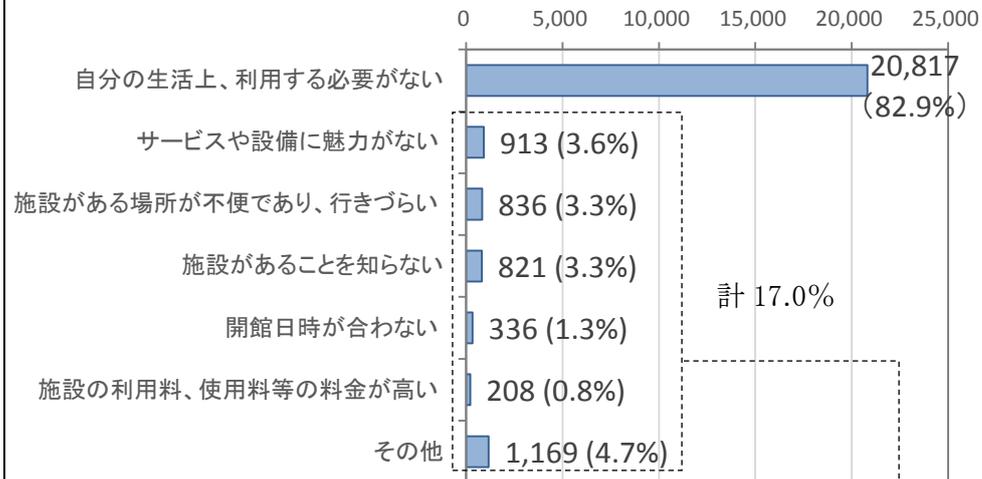
② アンケート結果(抜粋)



b) 公共施設を利用しない理由

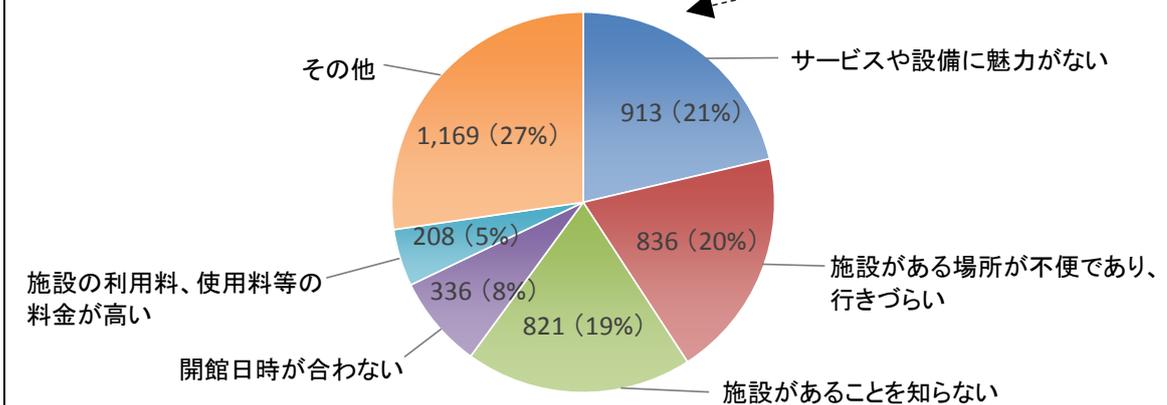
問7. 【問6(施設ごとの利用状況に関する質問)】で「年に1回から数回利用した」または「全く利用しなかった」と答えた施設は、どうい理由で利用が少なかったのですか。(複数回答)

・公共施設を利用しない理由としては、「利用する必要がない」という回答が全体の82.9%を占め最も多くなっている。



・「利用する必要がない」以外の回答(全体の17.0%:上グラフ点線部)を全数として内訳を見ると、「サービス・設備に魅力がない(21%)」、「施設がある場所が不便であり、行きづらい(20%)」、「施設があることを知らない(19%)」という回答が多かった。

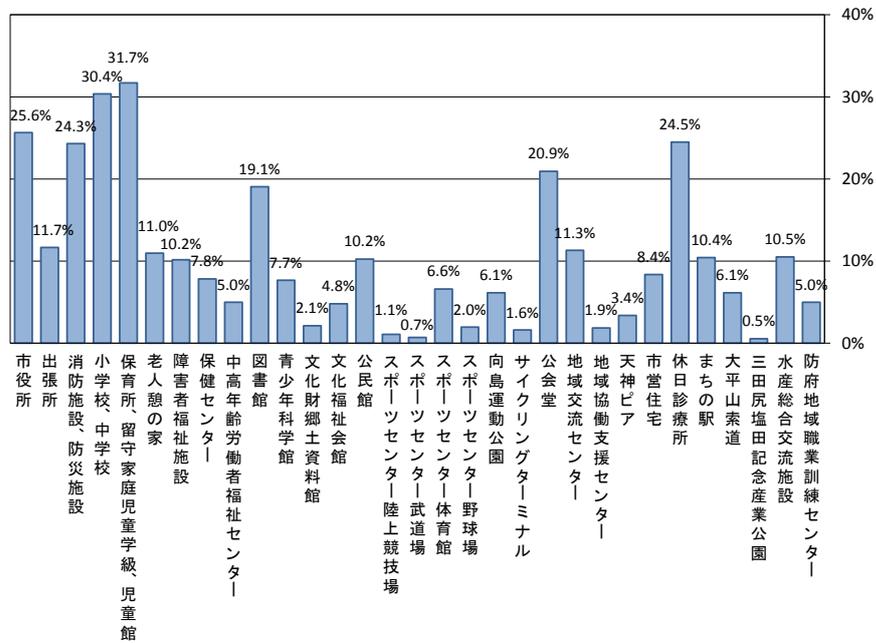
内訳



c) 充実を求める公共サービス

問8. 今後どの施設を優先的に充実すればよいと思いますか。(複数回答)

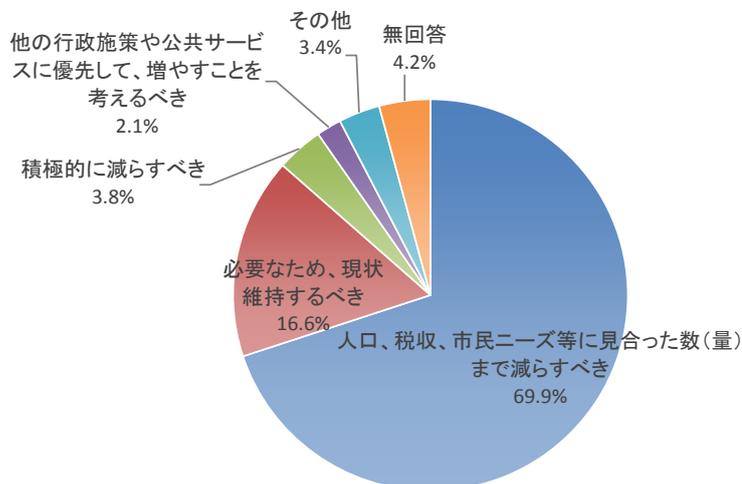
・「保育所、留守家庭児童学級、児童館(31.7%)」、「小学校、中学校(30.4%)」、「市役所(25.6%)」、「休日診療所(24.5%)」、「消防施設、防災施設(24.3%)」を優先的に充実すべきと考えている市民が多く、次いで、「公会堂(20.9%)」、「図書館(19.1%)」を充実すべきという回答が多い。



d) 公共施設の在り方

問 11. 今後、少子高齢化が進むことなどにより、人口と財源(税金)が減少していくことが予想されますが、公共施設の在り方に関してあなたの考えに近いものを選んでください。

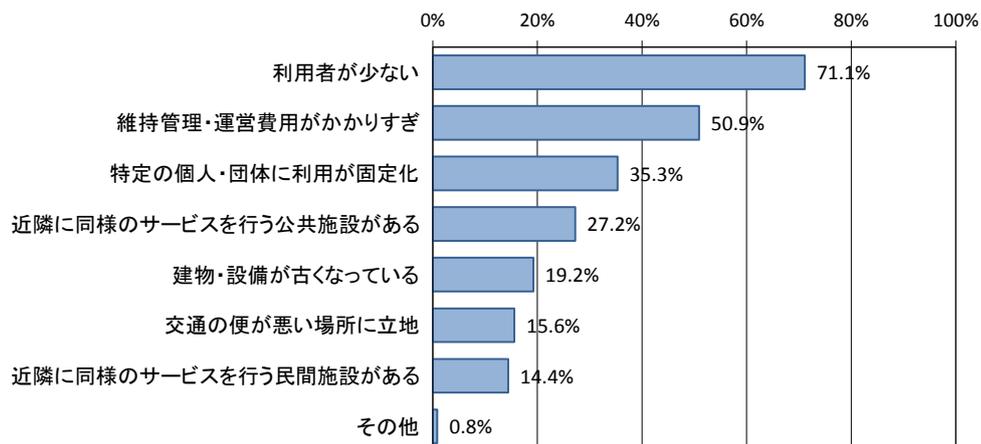
・「公共施設の必要性を見直し、人口、税金、市民ニーズ等に見合った数(量)まで減らすべきである(69.9%)」という回答が約 7 割を占めており、「今あるすべての公共施設は必要なため、現状維持すべきである(16.6%)」という回答を大きく上回っている。



e) 公共施設の縮減について

問 12.【問 11(今後の公共施設の在り方についての質問)】で「見合った数(量)まで減らすべき」「積極的に減らすべき」とお答えになった方は、どのような状況の公共施設を減らせばよいとお考えですか。(複数回答)

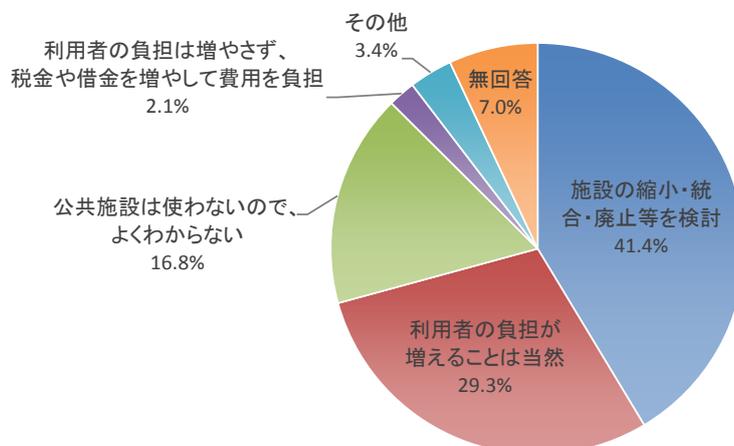
・「利用者が少ない施設(71.1%)」や「維持管理・運営費用がかかりすぎている施設(50.9%)」を減らせばよいと考える市民が多く、次いで「特定の個人・団体に利用が固定化している施設(35.3%)」や「近隣に同様のサービスを行う公共施設がある施設(27.2%)」、「建物・設備が古くなっている施設(19.2%)」も回答割合が高くなっている。



f) 受益者負担について

問 13. 施設の大規模な修繕や建替えにかかる多大な費用を確保する方法の1つとして、施設利用料の見直し(上乘せ)をしなければならない場合も想定されますが、このことについてどうお考えですか。

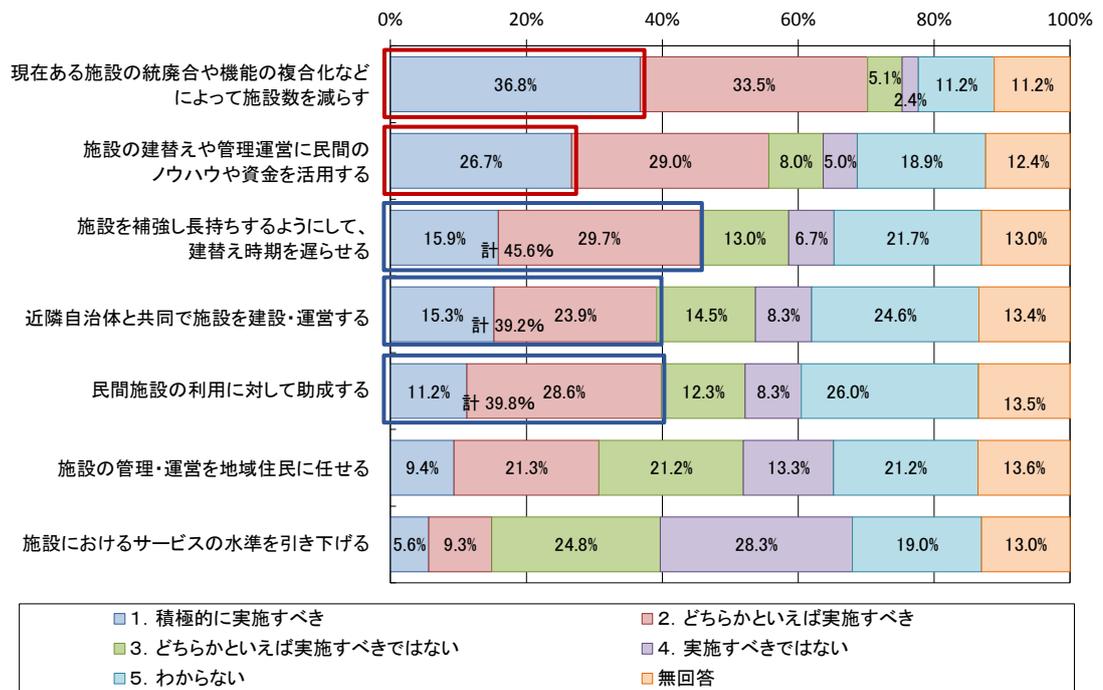
・「負担が増えるのであれば、施設の縮小・統合・廃止等を検討すべきである」という回答が41.4%と最も多くなっており、次いで、「利用者の負担が増えることは当然である」という回答が29.3%と多くなっている。



g) 公共施設の維持のための方策について

問 14. 公共施設を維持するための取組としては、さまざまな対応策が考えられますが、あなたのお考えに近いものを選んでください。

・公共施設の維持のための方策として、「施設の統廃合*や複合化*(36.8%)」や「民間のノウハウや資金の活用(26.7%)」を“積極的に実施すべき”という回答割合が高くなっている。
 ・さらに、“どちらかといえば実施すべき”という回答も含めると、「施設の長寿命化(45.6%)」、「近隣自治体との共同運営(39.2%)」、「民間施設利用に対する助成(39.8%)」も有効な方策と考えられている。



* 統廃合…複数の同じ目的の施設を一つに統合し、もう一方の施設を廃止すること。

* 複合化…複数の異なる目的の施設を一つの建物にまとめること。

(7) 公共施設を取り巻く課題(まとめ)

<p>公共施設</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 公共施設の総量(延床面積)のうちの約 6 割が建設後 30 年以上経過しており、10 年後には約 8 割に達します。 ・ 同規模で公共施設を修繕・更新していく場合に必要な支出は、今後 40 年間で約 1,279 億円、年平均約 32 億円と試算されました。過去 5 年の実績値平均と比べると、毎年約 25 億円が不足することが見込まれています。 ・ 全施設のうち耐震改修が必要な建物の割合は 14.6%であり、耐震改修は施設の安全性確保のため早期に進める必要があります。 ・ 本市の公共施設延床面積は、市民一人当たり 3.77 m²であり、人口が同規模(11 万人～13 万人)で平成の大合併が行われていない自治体の平均である 2.43 m²/人よりも大きくなっており、本市に見合った公共施設整備水準を検討する必要があります。 <div style="border: 1px solid orange; border-radius: 15px; padding: 10px; margin-top: 10px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・ 公共施設の老朽化に伴う修繕・更新費用の増大が見込まれます。 ・ 施設の安全性確保のために耐震改修の早期実施に取り組む必要があります。 </div>
<p>人口</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 平成 52 年度までの約 30 年間で、総人口は約 9.8 万人まで減少するとともに、老年人口割合が 35%まで増加し、年少人口割合は 11%まで減少し、人口減少・少子高齢化が一層進行する見通しです。 ・ こうした人口構成の変化や、それに伴い変化すると考えられる公共施設に対する市民ニーズへの対応が必要となります。 ・ 地域別に見ると、華城地域を除く全ての地域で人口が減少する見通しです。各地域の特性に合わせた公共施設の在り方を検討していく必要があります。 <div style="border: 1px solid orange; border-radius: 15px; padding: 10px; margin-top: 10px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・ 人口減少・少子高齢化による市民ニーズの変化への対応が必要となります。 ・ 地域別の人口・特性への対応を検討する必要があります。 </div>

<p>財政</p>	<ul style="list-style-type: none"> 公債費の増加、人口減少や少子高齢化などによる税収の減少及び扶助費の大幅な増加などにより、公共施設やインフラ施設の修繕・更新のための財源確保が困難な状況になることが想定されます。 <p>・ 公共施設の修繕・更新費用の将来予測に対する大幅な財源不足に陥る可能性があります。</p>
<p>市民意識 (市民アンケート)</p>	<ul style="list-style-type: none"> 利用が極端に少ない施設もあるため、それらの原因を追究するとともに、本当に必要な公共サービスの峻別が求められています。 人口、税収、市民ニーズ等に見合った数(量)まで減らすべきとする市民意見が最も多く、公共施設の在り方の見直しが求められています。 今後増大する公共施設の修繕・更新費用の確保策の一つである受益者負担についての詳細検討が求められています。 施設の統廃合・複合化や民間活力の活用についての積極的な検討が求められています。 <p>・ 市の状況に見合った公共施設の在り方の検討が求められています。</p>

3 公共施設マネジメント基本方針

(1) 公共施設マネジメントの必要性

今後、厳しい財政状況が想定される中、持続可能な公共サービスを提供していくためには、「公共施設」、「人口」、「財政」の課題を解決していく必要があります。

そのため、公共施設を資産と捉えた上で、これまでの公共施設の在り方、公共サービスの提供の仕方を行政経営改革の視点から見直し、公共施設マネジメントの考え方を取り入れていく必要があります。

本市の公共施設を取り巻く課題

公共施設に関する課題

- ・ 公共施設の老朽化に伴う修繕・更新費用の増大
- ・ 施設の安全性確保のための耐震改修の早期実施

人口状況に関する課題

- ・ 人口減少・少子高齢化による市民ニーズの変化
- ・ 地域別の人口・特性

財政状況に関する課題

- ・ 公債費の増加や税収の低下、社会保障費の増大による厳しい財政状況
- ・ 公共施設の大規模修繕及び更新に係る総費用試算（年平均約 32 億円）に対する大幅な財源不足見込

このままでは財政破たん、
または公共施設の
安全性の低下を招くおそれ

市民意識（市民アンケート結果のまとめ）

- ・ 必要な公共サービスの峻別が必要
- ・ 市の状況に見合った公共施設の在り方の検討が必要
- ・ 受益者負担の考え方の整理が必要
- ・ 施設の統廃合・複合化や民間活力の活用への積極的な取組が必要

公共施設マネジメント

公共施設の安全性を確保するとともに、公共施設を市民との共有資産として捉え、持続可能な公共サービスの提供と健全な財政運営を両立させるために公共施設の在り方の見直しを図っていく必要があります。

公共施設の最適化：再編・長寿命化・効率化の推進

(2) 公共施設マネジメント基本方針

本市の公共施設を取り巻く課題を踏まえ、今後、公共施設マネジメントを推進していくための基本方針として、以下の3つを定めます。

方針1：社会情勢・市民ニーズの変化や財政状況に対応した持続可能な公共サービスの提供に向けて、公共施設の「再編」を推進します。

本市では、昭和40年代後半から昭和50年代にかけての人口増加に伴い、多くの公共施設を整備してきており、今後、人口の減少とそれに伴う税収減の見込みを踏まえると、施設の老朽化に伴う修繕・更新費用の増大が本市の財政を圧迫していくことは、このままでは避けられません。

このような大きな社会情勢の変化をしっかりと見据え、市民ニーズの変化に柔軟に対応し、健全な財政状況を維持していくための公共施設の再編(統廃合・複合化など)を図っていく必要があります。

方針2：安全性や経済性を重視した計画的かつ適切な施設保全により、公共施設の「長寿命化」を推進します。

建設後30年以上経過した施設が全体の約6割を占めている現状を踏まえると、これらの施設についても、適切な保全を図り、できるだけ長く使えるようにしていく必要があります。

また、昭和56年以前の旧耐震基準で整備された公共施設の内、耐震改修が必要な建物は、施設総量(延床面積433,903㎡)の14.6%(63,411㎡)を占めており、これらは早急な耐震改修の実施が必要です。

このため、限られた財源の中で、安全性や経済性を勘案した計画的な保全を進め、公共施設の長寿命化を図っていく必要があります。

方針3：民間活力の活用や市民参画により、公共施設の管理運営の「効率化」を推進します。

公共施設の今後を見据えると、管理運営に係る費用の削減に向けたあらゆる検討を進める必要があります。

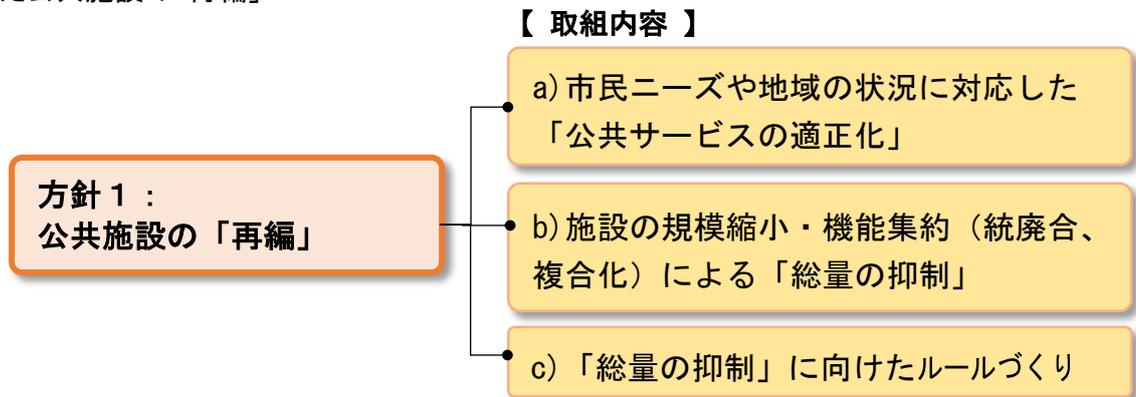
公共施設の管理運営には、既に民間活力の活用方策として、指定管理者制度*等の活用を進めてきていますが、民間でできることはできるだけ民間に任せるという考え方の下、更なる民間活力の活用や市民参画の可能性の検討を進めていく必要があります。

* 指定管理者制度…地方自治体が所管する公の施設について、管理運営を、民間事業会社を含む法人やその他の団体に、委託することができる制度。公の施設の管理運営に民間等のノウハウを導入することで、効率化を目指すことを目的としている。

(3) 取組内容

3つの基本方針を踏まえ、以下の取組内容により公共施設マネジメントを推進していきます。

① 社会情勢・市民ニーズの変化や財政状況に対応した持続可能な公共サービスの提供に向けた公共施設の「再編」



a) 市民ニーズや地域の状況に対応した「公共サービスの適正化」

- ・ 公共施設に対する市民ニーズの変化や地域ごとの人口・特性を十分に把握し、公共サービスの質を落とすことなく、人口や財政規模に見合った公共サービスの提供ができるように取り組みます。
- ・ 公共施設をよく利用する団体や市民をはじめ、納税者としての市民の声も反映させながら、公平性の高い公共サービスの提供ができるように取り組みます。

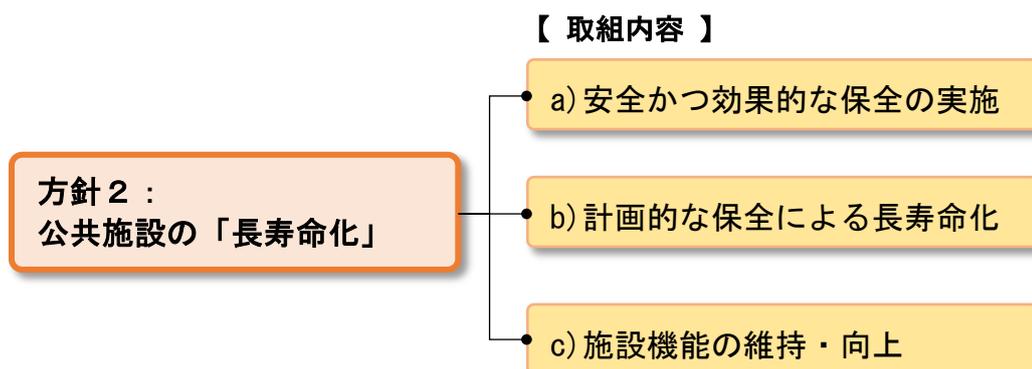
b) 施設の規模縮小・機能集約（統廃合、複合化）による「総量の抑制」

- ・ 時代の変遷により市民ニーズが変化した公共施設については、利用状況や管理運営コスト等も考慮し、利用状況に見合った施設規模の縮小、複数の施設で提供しているサービス・機能の統合、既存施設の余剰スペース活用による複合化など、施設機能の集約化等の可能性について検討します。
- ・ 施設機能の集約化等により、管理運営費や修繕・更新費用の縮減を図ります。
- ・ 統廃合や複合化により発生する余剰地や建物の余剰スペースについては、用途変更又は民間への売却・賃貸を含めて活用方策を十分に検討し、公有財産の有効活用を図ります。

c) 「総量の抑制」に向けたルールづくり

- ・ 公共施設の総量は、原則として、現在の保有水準以下で維持することを目標とします。
- ・ 施設の更新時には、費用対効果を十分に検討するとともに、周辺施設との複合化、保有形態の見直し(民間施設への入居・賃借)、施設のコンパクト化などの縮減方策の検討をルール化します。
- ・ 新規の施設整備を行う場合は、市全体の保有量が増加しないような方策を検討することをルール化します。

② 安全性や経済性を重視した計画的かつ適切な施設保全による公共施設の「長寿命化」



a) 安全かつ効果的な保全の実施

- ・ 施設を安全かつ良好な状態に保つため、定期的な点検や劣化診断*を行うとともに、市全体の施設情報を一元的に管理し、把握します。
- ・ 施設の特性や劣化状況等に見合った最適な保全方法を検討し、長期的な視点で安全かつ効果的な施設保全を実施します。
- ・ 施設管理者による施設保全の均質化、効率化を図るために、保全の実務に関する基本的事項、実施手順、実施方法等をまとめた「施設保全マニュアル」を作成します。

b) 計画的な保全による長寿命化

- ・ 限られた財源の中で施設を計画的に維持・保全していくために、財政計画とも連動した施設の長期保全計画を策定し、優先順位を付けて効率的・重点的に施設の長寿命化や耐震化を図ります。
- ・ 計画的な保全により、耐用年数を延ばし施設の長寿命化を図るとともに、建物の更新時期を遅らせることにより、公共施設全体の更新費用の平準化を図ります。

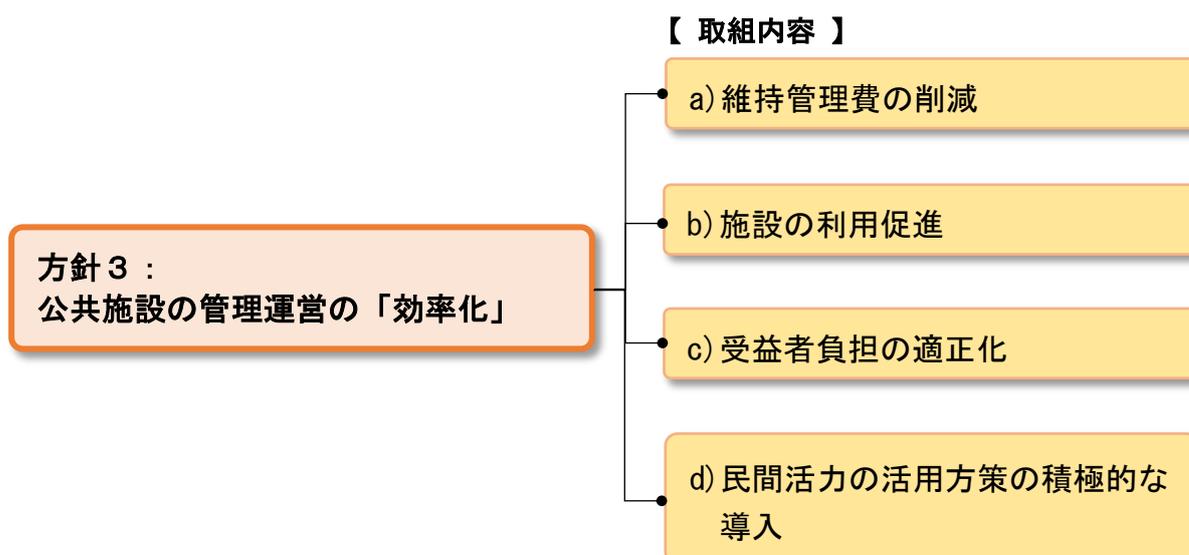
c) 施設機能の維持・向上

- ・ 計画的な保全とあわせて、環境への配慮、省エネルギー化、ユニバーサルデザイン*化などの施設機能の維持・向上を図ります。

* 劣化診断…建物をより良い状態で維持管理するために、建物の劣化の程度を調査すること。

* ユニバーサルデザイン…高齢であることや障害の有無などにかかわらず、全ての人が快適に利用できるように建物や生活空間などをデザインすること。

③ 民間活力の活用や市民参画による公共施設の管理運営の「効率化」



a) 維持管理費の削減

- ・ 維持管理業務の品質の安定と効率化を図るために、維持管理業務の発注仕様の標準化、複数業務の包括契約や複数年契約の導入など、発注・契約方式の見直しについて検討します。
- ・ 全施設の維持管理費等の情報を一元的に管理し、施設間で比較・検証を行うことにより、維持管理費等の削減を目指します。

b) 施設の利用促進

- ・ 施設の利用促進や収入増加に向けて、各施設において提供するサービスの対象圏域や地域特性を踏まえた利用促進方策について検討します。

c) 受益者負担の適正化

- ・ 施設使用料がある施設については、利用率向上による収入増加を図るとともに、施設の目的や利用状況などを踏まえて、料金設定、減免制度の見直しなど受益者負担の適正化を図ります。

d) 民間活力の活用方策の積極的な導入

- ・ 指定管理者制度やPFI*など公民が連携したPPP手法*の導入、あるいは民営化について検討し、管理運営コストの縮減とサービスの向上を図ります。
- ・ 公民館等の市民利用施設については、市民活動団体による施設管理など、市民による施設の管理運営の可能性を検討します。

* PFI…民間の資金、経営能力と技術的能力を活用して、公共施設等の建設・改修・維持管理・運営等を行う手法
* PPP手法…これまで市が提供してきた公共サービスに、民間の資金や技術・ノウハウを取り入れ行政と民間が協働して事業を行うこと。PFIもPPP手法の1つ。

4 公共施設マネジメントの実践に向けて

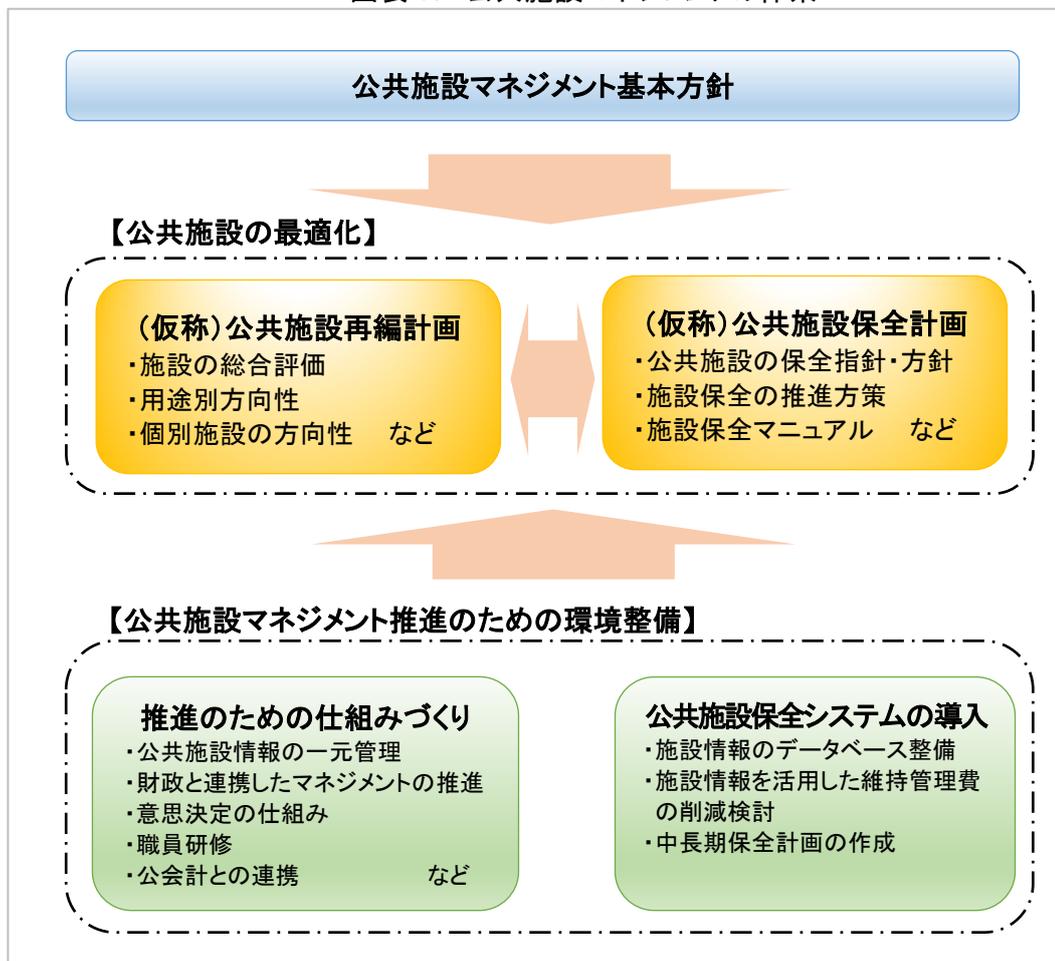
(1) 公共施設マネジメント実践のロードマップ

① 公共施設マネジメントの体系

公共施設マネジメント基本方針を受けて、その再編の推進を図るため「(仮称)公共施設再編計画」を、また、長寿命化の推進を図っていくため「(仮称)公共施設保全計画」を策定し、公共施設マネジメントの推進を具体化します。この推進に当たっては、民間活力の活用、市民参画等を促す手法を積極的に導入していくものとします。

また、公共施設マネジメントの推進を図るための環境整備として、公共施設の情報を一元管理し、活用していくために必要な道具として、公共施設保全システムの導入を図ります。

図表 17 公共施設マネジメントの体系



② ロードマップ

a) (仮称)公共施設再編計画

平成 27 年度以降は、この基本方針を踏まえ、用途別の方向性を中心とし、公共施設の再編(統廃合・複合化・転用など)の取組も含めた「(仮称)公共施設再編計画」を作成します。

(ア) 用途別の方向性

平成 27 年度に策定する「(仮称)公共施設再編計画」において、これまでに整理した各公共施設の状況のデータを元に、用途分類間及び用途分類内で施設を比較する総合評価を行い、用途分類別の今後の方向性を示します。

(イ) 個別施設の方向性

用途別の方向性を基本として、個別の施設について、統廃合・複合化・転用などの具体的な方向性を示します。早期に方向性の決まった施設については、「(仮称)公共施設再編計画」において、モデルプロジェクトとして取り上げます。

b) (仮称)公共施設保全計画

「(仮称)公共施設再編計画」を踏まえ、今後も維持していく公共施設の長寿命化を推進していくための基本的な考え方をまとめた「(仮称)公共施設保全計画」を平成28年度に作成します。

図表 18 公共施設マネジメントのロードマップ

	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成33年度	平成34年度	平成35年度	平成36年度
防府市総合計画	第四次総合計画 計画期間：平成23年度～平成32年度							次期 総合計画			
基本方針	基本方針作成										
最適化計画											
再編計画		再編計画作成									
用途別の方向性		実施計画 (随時見直し)									
個別施設の方向性		実施計画 (随時見直し)									
保全計画			保全計画作成								
保全システム導入検討			実施計画 (随時見直し)								
施設保全マニュアル作成											

※上表の「保全システム」の詳細はP30(3)、「施設保全マニュアル」の詳細はP27(2)b)を参照

③ 計画の見直し

「(仮称)公共施設再編計画」は、今後も変化することが十分想定される社会経済情勢、市民ニーズを把握するとともに、常に公共施設状況のデータの把握・更新を行いつつ確実に実行していく必要があります。そのため、各種の取組の進捗状況やその効果を評価し、進行管理を行いながら計画の見直しを行うものとします。また、「(仮称)公共施設保全計画」についても「(仮称)公共施設再編計画」に合わせて、必要に応じた見直しを行うものとします。

この基本方針については、頻繁に見直しを行うべきものではありませんが、今後、数十年かけて本市の公共施設の諸課題を順次解決していくための方針・取組を示すものであり、社会情勢や市の人口・財政状況、公共施設状況に応じて見直しを行いながら、確実に公共施設マネジメントを実行していくことが必要となります。

(2) 公共施設マネジメントの仕組みづくりと推進体制

① 公共施設マネジメントの仕組みづくり

公共施設マネジメントの実践には、長期にわたる地道な取組が必要です。

本市の現状を踏まえ、公共施設マネジメントに係わる各種取組をより進めやすくするための検討に着手します。具体的には、以下のような検討を進めます。

a) 公共施設に関する情報の一元管理

公共施設の長寿命化を図っていくためには、これまでの事後保全から脱却し、予防保全*を積極的に進め、施設を健全に保っていくことが重要です。その結果として、ライフサイクルコスト*の削減につながっていくことも期待できます。

そのためには、本市が保有する公共施設に関する情報の一元管理を進め、中長期的、統一的な視点に立った総合的な管理を行っていく必要があります。

b) 施設管理者による日常的な保全業務の推進

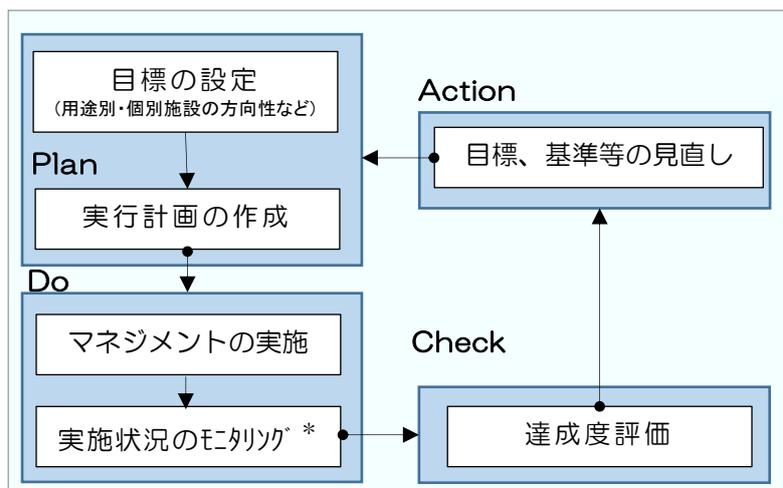
予防保全による公共施設の長寿命化を推進するためには、施設の現状を常に把握し、必要な時期に適切な修繕等が実施できるようにしておくことが重要であり、そのためには施設管理者による日常的な保全業務として、点検等が適切に実施されるようにしておくことが重要となります。

そのための保全の実務に関する基本的な事項、実施手順、実施方法等をまとめた「施設保全マニュアル」を作成し、各施設の保全管理担当に配付します。

c) PDCAサイクルの推進

本書に掲げた方針に沿って進める取組は、一定期間ごとにその状況や効果を検証・評価しつつ、適切な見直しを行いながら進めていく、いわゆるPDCA(Plan・Do・Check・Action)サイクルを導入しながら進めていくこととします。

図表 19 PDCAサイクルの推進



* 予防保全…定期的な点検などによって建物の機能や性能を常に把握し、劣化の状態を予測した上で、予防的な処置を施し、建物などを良好な状態で長く使用できるようにすること。

* ライフサイクルコスト…建物の建設費用だけでなく、設計費用、保全費用、解体費用なども含めた生涯コスト

* モニタリング…計画が適切に進行しているかを確認すること。

d) 職員の意識改革を図る研修

公共施設マネジメントをうまく機能させていくためには、日々、現場の最前線で公共施設の管理運営に携わっている職員一人ひとりの意識改革を促し、職員自らがその重要性を理解し、取り組んでいくように方向付けしていくことが重要です。そのためには、公共施設マネジメントの進捗に合わせて、段階的、継続的に研修を積み重ねていくことが有効です。

このような目的に向かって、公共施設マネジメントに関する職員向けの研修を定期的を開催し、更なる職員の意識改革と公共施設マネジメントに関する知識の修得を図り、日々の取組に反映できるようにします。

e) 公会計との連携

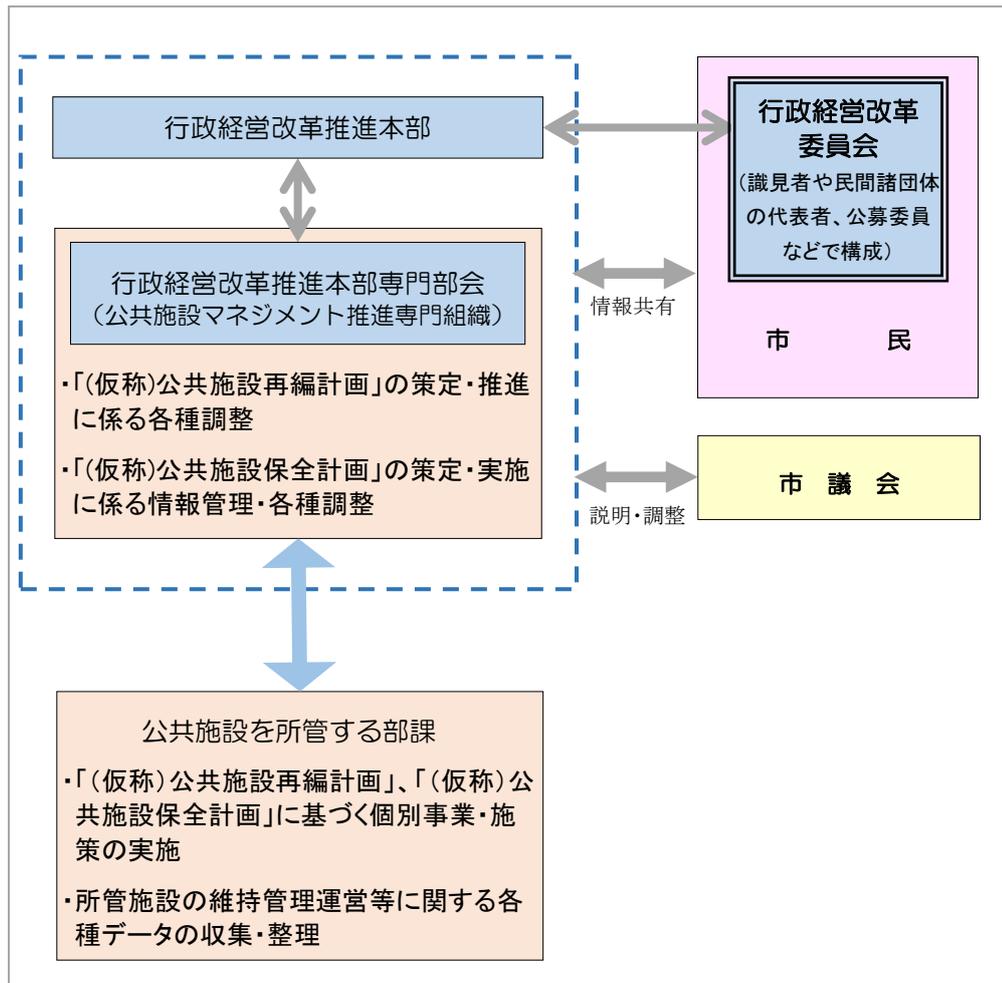
公共施設マネジメントを推進する上で、複式簿記や発生主義の考え方を取り入れた新しい公会計制度の導入に向けた検討を進めます。これにより、将来世代の負担となる負債等のストック情報や減価償却費等の現金支出を伴わない費用も含めた事業コスト全体の把握ができるようにします。

② 推進体制

公共施設マネジメントの推進体制として、マネジメントに関する情報共有と意思決定を行う庁内組織を設置し、検討を進めています。

今後は、各公共施設を所管する部課と連携を密に取りながら情報を共有し、財政や施設管理の視点をもって公共施設マネジメントを円滑に進めていくために、中心となる検討組織を立ち上げ、「(仮称)公共施設再編計画」及び「(仮称)公共施設保全計画」の策定・実施に取り組んでまいります。

図表 20 公共施設マネジメント推進体制



(3) 公共施設保全システムの導入

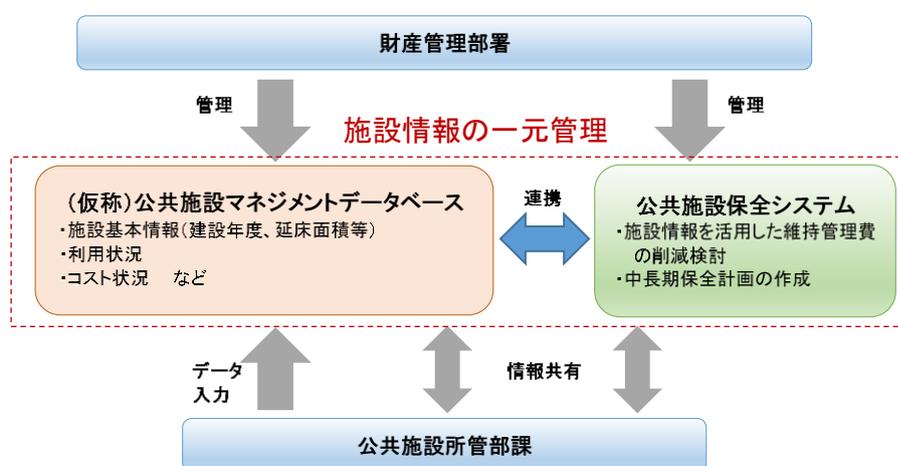
本市の公共施設は、建設後 30 年を迎えようとする施設が全体の約 6 割を占める状況となっており、10 年後にはそれが 8 割に達しようとしています。

したがって、今後は公共施設の保全費用が急激に増大することが見込まれます。

こうした状況を踏まえると、今後は修繕工事等の費用の縮減、実施時期の調整等による費用の平準化を図り、計画的・効率的な保全業務を実施していく必要があります。

そのためには、建築基準法に基づく定期点検や各種法令点検、施設管理者による点検結果等を随時保管するとともに、建物の仕様などの基本情報や光熱水費、修繕履歴等の建物の現状を把握するための維持管理データ等を一元的に管理し、改修工事等の優先度や実施時期の調整機能を持つ保全システムの導入を図ります。

図表 21 公共施設保全システムの活用



(4) 市民参画による公共施設マネジメントの推進

公共施設の在り方を検討するに当たっては、施設情報を提供する取組と併せて市民ニーズの把握に積極的に取り組みます。

施設情報としては、平成 25 年度に「防府市公共施設白書」を公表していますが、定期的に更新していくことで、最新情報の提供に努めるとともに、各種の試みに伴う改善状況についても公表していくものとします。

また、本書に掲載している市民アンケートのほかに、公共施設の利用者アンケート、地域説明会等の開催を通じて、市民の公共施設マネジメントの取組への積極的な参加を促し、議論・検討を進めていきます。

さらに、施設の管理・運営等において、地域住民や市民活動団体等に委託するための検討、そうした方向に向けた創意工夫に富んだ発想やノウハウを生かす取組等の提案を積極的に受け入れるための検討など、あらゆる場面での市民参画を推進していくものとします。

5 公共施設マネジメント推進に向けて

少子高齢化、生産年齢人口の減少、更には将来的な人口減少が予測される中で、市民共有の財産である公共施設は、老朽化の進行等による各種の課題を抱えており、今、その在り方については大きな岐路を迎えようとしています。

これは、これまでのような全市レベル又は地域レベルで、必要な公共施設を整備していくという議論から、いかにして必要な公共施設を絞り、本市の将来を見据えた公共施設の在り方を考えていくかの議論に転換していこうというものです。

公共施設の整備・再配置・維持保全など、その在り方として公共施設マネジメントを推進していく過程においては、施設利用や公共サービス面で現状からの大きな変更が必要になることもあります。

変更に当たっては、市民ニーズや地域特性に対応した施設の在り方を十分に検討し、公共サービスとその品質の確保に十分配慮する必要があります。

一方で、公共施設の再編を進める際には、「施設を利用する市民」(受益者としての市民)だけでなく、「納税者としての市民」(負担者としての市民)の視点も含め、広い視野から議論を重ねていくことも必要です。

そのため、今後は、個別施設の総合評価を行うとともに、施設利用に関するアンケートや幅広い市民に対する説明会の開催などを通じて、本市の健全な財政状況の維持と公共サービスの品質確保の両立が可能となるよう、市民との情報共有を図りながら全市的な議論を重ねていきたいと考えます。

公共施設の長寿命化を図っていくための取組として、市営住宅については、「防府市公営住宅等長寿命化計画(平成 24 年 2 月)【計画期間:平成 24 年度～平成 33 年度】」をとりまとめ、長寿命化とライフサイクルコストの縮減に向けた取組を進めており、さらに、総量の縮減にも今後取り組んでいきます。同様に、小中学校については、「防府市立学校耐震化推進計画[改訂版](平成 24 年 3 月)【計画期間:平成 20 年度～平成 30 年度】」をとりまとめ、学校施設の耐震化を計画的に進めていくこととしています。

これら以外の施設についても、長寿命化に向けた取組を進めているところですが、今後も財政状況とのバランスを図りながら、建替え計画を見据えた施設再編を積極的に進めていく必要があります。

今後、本書「防府市公共施設マネジメント基本方針」に基づき、公共施設に係る既存計画や新たな議論を踏まえ、平成 27 年度(2015 年度)に「(仮称)防府市公共施設再編計画」、平成 28 年度(2016 年度)には「(仮称)防府市公共施設保全計画」として、公共施設マネジメントを具体的に推進していくための計画として取りまとめ、公表していくものとします。

參考資料

市民アンケート調査へのご協力をお願い

市民の皆様には、常日頃から市政各般にわたり、ご理解、ご協力を賜り、心からお礼申し上げます。

さて、防府市では、市が保有している公共施設について、市民利用施設を中心に、利用状況、維持管理・運営に要する経費、施設の老朽化・耐震化状況等をまとめた「防府市公共施設白書」を作成し、平成26年6月に公表しました。

今後、人口減少や少子高齢化が予測される中、老朽化に伴う大規模な修繕、更新（建替え）などの時期を迎えることから、財政的にも大きな負担となることが予想されます。

この状況に対し、公共サービスに関する市民ニーズの変化を捉え、限られた財源や資産をより有効に活用していくため、今後の公共施設のあり方を見直す公共施設マネジメント*が必要と考え、その実践に向けた検討を進めております。

このアンケートは、今後の公共施設のあり方を検討し、「防府市公共施設マネジメント基本方針」を策定するに当たりその基礎資料とするため、皆様のご意見やお考えをお尋ねするものです。

つきましては、お忙しいところ誠に恐縮に存じますが、アンケートの趣旨にご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

*公共施設・・・このアンケートにおける公共施設とは、市が保有する建物を有する施設であって、小中学校、公民館、市営住宅、アスビラート、ソルトアリーナなど市民が広く利用する施設をいいます。

*マネジメント・・・上記の公共施設について、自治体経営の視点から総合的かつ統括的に企画、管理又は利活用する仕組みをいいます。

平成26年8月

防府市長 松浦 正人

ご回答にあたっての注意事項

- 封筒の宛名の方が回答できない場合は、ご本人に代わってご家族の方がご自身の立場でご回答してください。
- 本調査は無記名ですので、お名前を記入される必要はありません。
- ご回答は設問ごとの指示に従い、お間違えのないようにご記入ください。
- 鉛筆又はボールペンで、直接アンケート調査票にご記入ください。
- ご回答の内容は、すべて統計的に処理し、本調査の目的以外に使用することはありません。
- ご記入後、同封の返信用封筒に入れ、切手を貼らずにポストに投函してください。
- ご回答の期限は、平成26年9月10日(水)までです。ご協力よろしくお願いいたします。

*ご不明な点などございましたら、下記の連絡先までお問い合わせください。

防府市 総合政策部 行政経営改革課

TEL:0835-25-2188

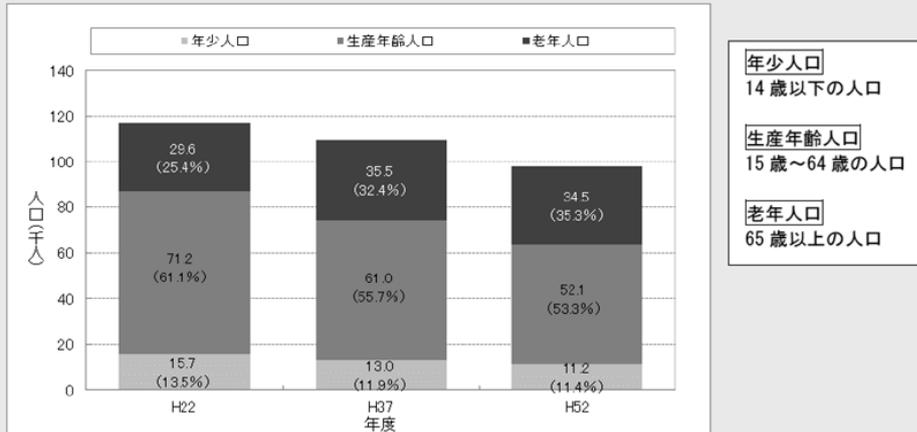
FAX:0835-25-2558

E-mail:gyoukaku@city.hofu.yamaguchi.jp

防府市の公共施設を取り巻く状況

その1：人口減少・少子高齢化の進行

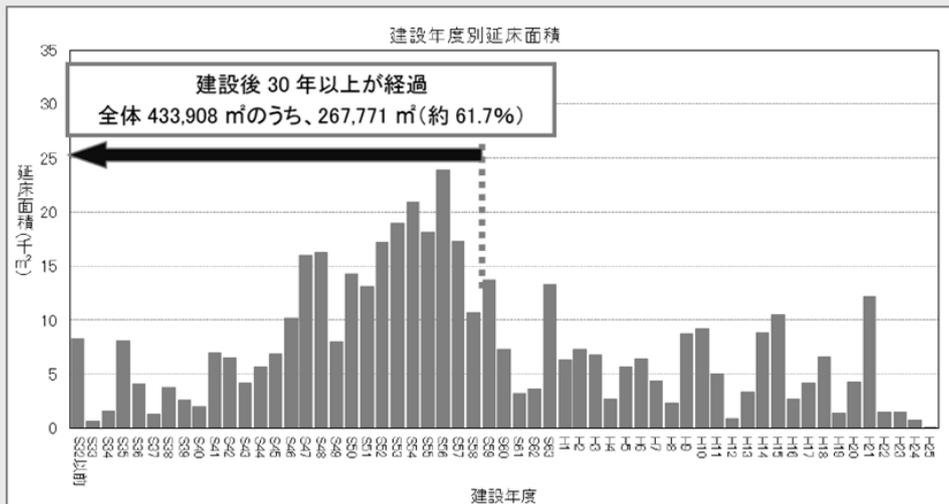
- ・防府市の人口は、平成22年度からの30年間で約84%まで減少すると見込まれています。
- ・老年人口割合は約35%まで増加し、年少人口は約11%まで減少する見通しです。
- ・生産年齢人口の減少や老年人口の増加は、税収の低下や社会保障費の増大など、今後の市の財政に大きな影響を与えるといわれています。



参照：国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口」平成25年（2013年）3月推計

その2：施設の老朽化

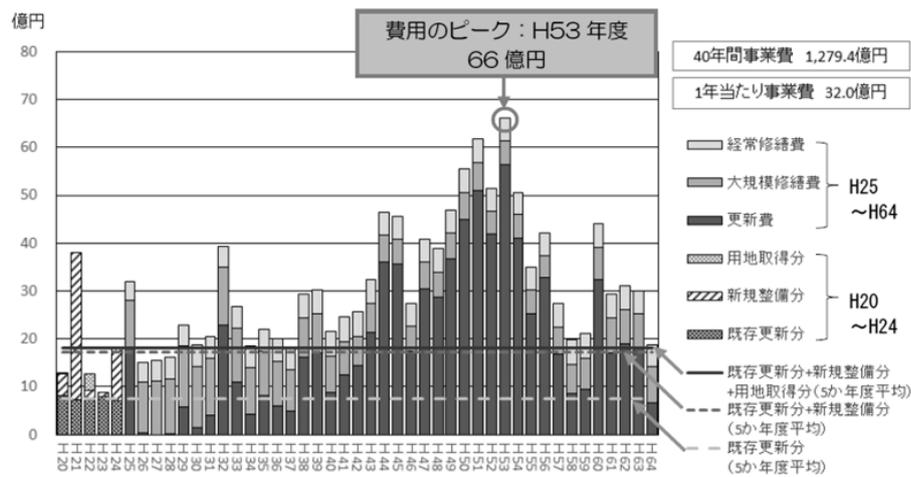
- ・防府市では、昭和40年代から50年代にかけて施設整備が大きく進みました。
- ・公共施設の総量（延床面積）約43万㎡のうち約62%を昭和58年度までに整備しており、これらは建設後30年以上が経過しています。
- ・今後、老朽化が進み、大規模修繕や更新が必要になることが予測されます。



その3：将来費用の推移

全ての施設を現行の状態を更新した場合の今後40年間の経常修繕費、大規模修繕費及び更新費に係る将来の総費用は、約1,279億円、1年あたりでは約32億円となる試算結果となりました。

これは、平成20年度から平成24年度までの既存更新分の実績値から求めた年間の平均値（約7億5,000万円）と比べると、毎年約24億5,000万円が不足することが見込まれます。



(※ 平成25年4月1日現在において市が保有する施設(建物)について試算したものです。)

解決策

公共施設マネジメント

防府市では高度経済成長期を中心にこれまで公共施設を整備してきましたが、人口減少・少子高齢化が進む中、公共施設の総量やサービス内容が現在のままでよいのか、公共施設のあり方を抜本的に見直す時期が到来しています。

今後、公共施設の老朽化への対応として、限られた財源の中で、どのように今ある施設を維持・活用しつつ、建て替えていくかは重要な課題です。

そこで、防府市は、人口動向や市民ニーズ(質と量)の変化を捉え、限られた財源や資産をより有効に活用していくため、市民の皆様とともに、公共施設全体の最適化を目指していく「公共施設マネジメント」に取り組んでいきます。

市民アンケート調査票

以下の問1～15までの質問にご回答ください。

1. あなたご自身のことについて、おたずねします。

各問で、当てはまる番号1つに○をつけてください。

問1. 性別

1	男性	2	女性
---	----	---	----

問2. 年齢

1	10歳代	2	20歳代	3	30歳代	4	40歳代
5	50歳代	6	60歳代	7	70歳以上		

問3. お住まいの地域

1	牟礼	2	松崎	3	佐波
4	勝間	5	華浦	6	新田
7	野島	8	向島	9	中関
10	華城	11	西浦	12	右田
13	富海	14	小野	15	大道

問4. 防府市での居住年数

1	5年未満	2	5～10年未満
3	10～20年未満	4	20年以上

問5. 職業

1	農林漁業	2	商工業（自営）
3	その他の自営業	4	会社員
5	公務員・団体職員	6	家事専業（パート含む）
7	学生	8	無職
9	その他（ ）		

II. 公共施設の利用状況について、おたずねします。

防府市が設置した公共施設には次のようなものがあります。

問6. あなたは過去1年間に次の施設をどの程度利用しましたか。施設の種類ごとに利用回数が近いものを選んで、表の中のであはまる番号(1~4)に○をつけてください。

施設名		週に1回 から数回 利用した	月に1回 から数回 利用した	年に1回 から数回 利用した	全く利用 しなかつ た
1	行政系施設 (1)市役所、出張所	1	2	3	4
2	子育て支援施設 (2)留守家庭児童学級、児童館	1	2	3	4
3	保健福祉施設 (3)老人憩の家	1	2	3	4
	(4)保健センター	1	2	3	4
	(5)中高年齢労働者福祉センター (サンライフ防府)	1	2	3	4
4	社会教育系施設 (6)図書館	1	2	3	4
	(7)青少年科学館(ソラル)	1	2	3	4
	(8)文化財郷土資料館	1	2	3	4
	(9)文化福祉会館(文化センター、 勤労青少年ホーム)	1	2	3	4
5	スポーツ・ レクリエーション施設 (10)公民館	1	2	3	4
	(11)スポーツセンター陸上競技場	1	2	3	4
	(12)スポーツセンター武道館	1	2	3	4
	(13)スポーツセンター体育館 (ソルトアリーナ)	1	2	3	4
	(14)スポーツセンター野球場	1	2	3	4
	(15)向島運動公園	1	2	3	4
6	市民文化系施設 (16)サイクリングターミナル	1	2	3	4
	(17)公会堂	1	2	3	4
	(18)地域交流センター(アスピラート)	1	2	3	4
	(19)地域協働支援センター	1	2	3	4
7	医療施設 (20)天神ピア	1	2	3	4
8	医療施設 (21)休日診療所	1	2	3	4
	観光施設 (22)まちの駅(うめてらす)	1	2	3	4
	(23)大平山索道(大平山ロープウェイ)	1	2	3	4
9	産業系施設 (24)三田尻塩田記念産業公園	1	2	3	4
	(25)総合交流施設(潮彩市場防府)	1	2	3	4
	(26)防府地域職業訓練センター	1	2	3	4

3または4を選んだ施設については、右ページ「問7」にもお答えください。

問7.【問6】で「年に1回から数回利用した」または「全く利用しなかった」とお答えになった施設は、
 どのような理由で利用が少なかったのですか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

施設番号	自分の生活上、 利用する必要がない	施設がある 場所が不便であり、 行きづらい	開館日時が 合わない	施設の利用料、 使用料等の 料金が低い	サービスや 設備に魅力がない	施設があることを 知らない	その他
(1)	1	2	3	4	5	6	7
(2)	1	2	3	4	5	6	7
(3)	1	2	3	4	5	6	7
(4)	1	2	3	4	5	6	7
(5)	1	2	3	4	5	6	7
(6)	1	2	3	4	5	6	7
(7)	1	2	3	4	5	6	7
(8)	1	2	3	4	5	6	7
(9)	1	2	3	4	5	6	7
(10)	1	2	3	4	5	6	7
(11)	1	2	3	4	5	6	7
(12)	1	2	3	4	5	6	7
(13)	1	2	3	4	5	6	7
(14)	1	2	3	4	5	6	7
(15)	1	2	3	4	5	6	7
(16)	1	2	3	4	5	6	7
(17)	1	2	3	4	5	6	7
(18)	1	2	3	4	5	6	7
(19)	1	2	3	4	5	6	7
(20)	1	2	3	4	5	6	7
(21)	1	2	3	4	5	6	7
(22)	1	2	3	4	5	6	7
(23)	1	2	3	4	5	6	7
(24)	1	2	3	4	5	6	7
(25)	1	2	3	4	5	6	7
(26)	1	2	3	4	5	6	7

「その他 7」の具体的な理由は次ページにお書きください。

問7で「7 その他」と答えられた方で、具体的な理由があればご記入ください。

施設名または施設番号	具体的な理由

Ⅲ. 公共施設の充実について、おたずねします。

問8. あなたは、今後どの施設を優先的に充実したらよいと思いますか。表の中からあてはまるものに○をつけてください。(最大5つまで)

施設名		記入欄
1	行政系施設	市役所
		出張所
		消防施設、防災施設
2	学校教育系施設	小学校、中学校
3	子育て支援施設	保育所、留守家庭児童学級、児童館
4	保健福祉施設	老人憩の家
		障害者福祉施設（身体障害者福祉センター等）
		保健センター
		中高年齢労働者福祉センター（サンライフ防府）
5	社会教育系施設	図書館
		青少年科学館（ソラル）
		文化財郷土資料館
		文化福祉会館（文化センター、勤労青少年ホーム）
		公民館
6	スポーツ・レクリエーション施設	スポーツセンター陸上競技場
		スポーツセンター武道場
		スポーツセンター体育館（ソルトアリーナ）
		スポーツセンター野球場
		向島運動公園
		サイクリングターミナル
7	市民文化系施設	公会堂
		地域交流センター（アスピラート）
		地域協働支援センター
		天神ピア
8	住宅施設	市営住宅
9	医療施設	休日診療所
10	観光施設	まちの駅（うめてらす）
		大平山索道（大平山ロープウェイ）
		三田尻塩田記念産業公園
11	産業系施設	水産総合交流施設（潮彩市場防府）
		防府地域職業訓練センター

IV. 今後の公共施設のあり方について、おたずねします。

問9. あなたは、「防府市の公共施設を取り巻く状況（老朽化問題、将来費用）」について、どのくらい関心をお持ちですか。あてはまる番号1つを選んで○をつけてください。

1	強い関心を持っている
2	関心を持っている
3	どちらかといえば関心はない
4	関心はない
5	わからない

※ 「防府市の公共施設を取り巻く状況」についての資料は、アンケート依頼文に添付していますので、ご覧ください。

問10. 公共施設のサービス、施設の老朽化、管理運営、コストなどの客観的な情報を整理・分析し、公共施設の最適化に向けた今後のあり方を検討するための基礎資料としてまとめた「防府市公共施設白書」をご存知ですか。あてはまる番号1つを選んで○をつけてください。

1	読んだ
2	知っていたが、読んでいない
3	知らなかった

※ 「防府市公共施設白書」は、市ホームページ、市役所（1号館）、出張所、公民館、防府図書館、市広報（8月1日号に一部内容掲載）にて公表しています。

問11. 現在、市が保有・管理している公共施設を今後も維持し、建替えをしていくには多大な費用が必要になります。今後、少子高齢化が進むことなどにより、人口と財源（税収）が減少していくことが予想されますが、公共施設のあり方に関してあなたの考えに最も近い番号1つを選んで○をつけてください。

1	公共施設は足りないため、他の行政施策や公共サービスに優先して、増やすことを考えるべきである <small>※具体的な施設があればご記入ください</small>
2	今あるすべての公共施設は必要なため、現状維持するべきである
3	公共施設の必要性を見直し、人口、税収、市民ニーズ等に見合った数（量）まで減らすべきである
4	今ある公共施設は、積極的に減らすべきである
5	その他

問 12. 【問 11】で「3」または「4」とお答えになった方は、どのような状況の公共施設を減らせばよいとお考えですか。表の中からあてはまる番号を選んで○をつけてください。(最大3つまで)

1	利用者が少ない施設
2	特定の個人・団体に利用が固定化している施設
3	建物・設備が古くなっている施設
4	維持管理・運営費用がかかりすぎている施設
5	交通の便が悪い場所に立地している施設
6	近隣に同様のサービスを行う公共施設がある施設
7	近隣に同様のサービスを行う民間施設がある施設
8	その他 ()

問 13. 今後、少子高齢化が進むことなどにより、将来、財源（税収）が減ることが見込まれる中で、公共施設を維持していくためには経営努力を行うことはもちろんですが、施設の大規模な修繕や建替えにかかる多大な費用を確保する方法の1つとして、施設利用料の見直し（上乘せ）をしなければならない場合も想定されます。このことについて、あなたの考えに最も近い番号1つを選んで○をつけてください。

1	受益者負担の原則から利用者の負担が増えることは当然である
2	利用者の負担は増やさず、税金や借金を増やして費用を負担すべきである
3	利用者の負担を増やすのであれば、施設の縮小・統合・廃止等を検討すべきである
4	公共施設は使わないので、よくわからない
5	その他 ()

問 14. 公共施設を維持するための取組としては、問 13 の施設利用料の見直し（上乘せ）の考え方以外にもさまざまな対応策が考えられます。表の中の対応策例から、あなたのお考えに近い番号をそれぞれ1つ選んで○をつけてください。

以下の対応策例について、それぞれ右欄の1~4の中から1つ選んで○をつけてください。	積極的に実施すべき	どちらかといえば実施すべき	どちらかといえば実施すべきではない	実施すべきではない	わからない	
1	現在ある施設の統廃合や機能の複合化などによって施設数を減らす	1	2	3	4	5
2	施設の建替えや管理運営に民間のノウハウや資金を活用する	1	2	3	4	5
3	施設の管理・運営を地域住民に任せる	1	2	3	4	5
4	施設を補強し長持ちするようにして、建替え時期を遅らせる	1	2	3	4	5
5	近隣自治体と共同で施設を建設・運営する	1	2	3	4	5
6	民間施設の利用に対して助成する	1	2	3	4	5
7	施設におけるサービスの水準を引き下げる	1	2	3	4	5

問 15. その他公共施設のあり方について、自由なご意見をお聞かせください。



質問は以上です。ご協力ありがとうございました。

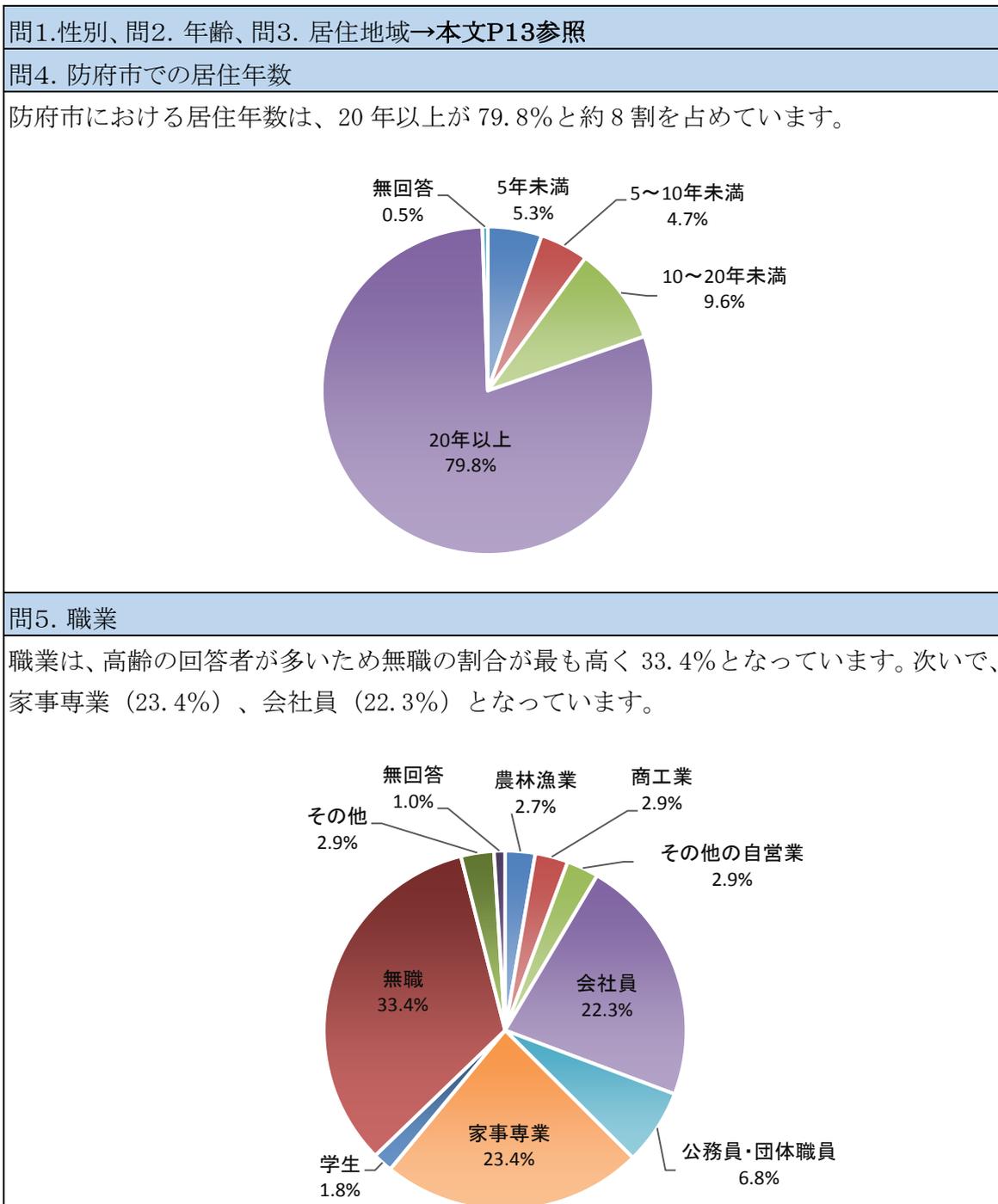
記入が終わったアンケート調査票は、同封の返信用封筒に入れ、切手を貼らずに9月10日(水)までにご投函ください。

2 市民アンケート結果

(1) アンケート調査の概要（再掲）

- ・調査期間:平成 26 年 8 月 26 日(火)～9 月 10 日(水)
- ・調査対象:平成 26 年 8 月 1 日現在、市内在住の 18 歳以上の方から 3,000 人を無作為抽出
- ・有効回答者数:1,121 人(回収率 37.4%)

(2) アンケート調査結果（基本方針本文中未掲載分）



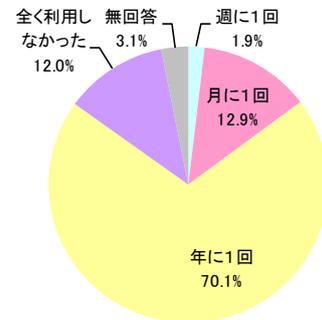
問6. あなたは過去1年間に次の施設をどの程度利用しましたか。施設の種類ごとに利用回数が近いものを選んで、表の中のあてはまる番号(1~4)に○をつけてください。

問7. 【問6】で「年に1回から数回利用した」または「全く利用しなかった」とお答えになった施設は、どういう理由で利用が少なかったのですか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 行政系施設

(1) 市役所、出張所

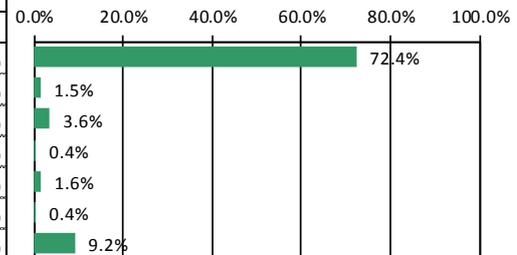
	全体	
	回答数	構成比
1 週に1回から数回利用した	21	1.9%
2 月に1回から数回利用した	145	12.9%
3 年に1回から数回利用した	786	70.1%
4 全く利用しなかった	134	12.0%
- 無回答	35	3.1%
計	1,121	100.0%



問7(1)へ

【複数回答】

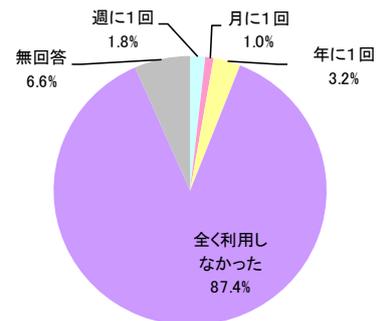
	全体	
	回答数	構成比
1 自分の生活上、利用する必要がある	666	72.4%
2 施設がある場所が不便であり、行きづらい	14	1.5%
3 開館日時が合わない	33	3.6%
4 施設の利用料、使用料等の料金が安い	4	0.4%
5 サービスや設備に魅力がない	15	1.6%
6 施設があることを知らない	4	0.4%
7 その他	85	9.2%
回答母数	920	100.0%



2. 子育て支援施設

(2) 留守家庭児童学級、児童館

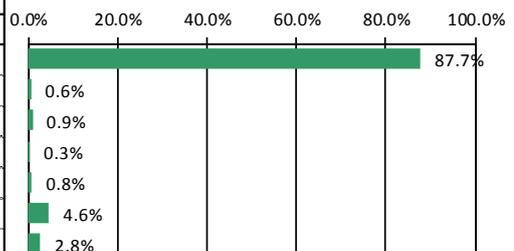
	全体	
	回答数	構成比
1 週に1回から数回利用した	20	1.8%
2 月に1回から数回利用した	11	1.0%
3 年に1回から数回利用した	36	3.2%
4 全く利用しなかった	980	87.4%
- 無回答	74	6.6%
計	1,121	100.0%



問7(2)へ

【複数回答】

	全体	
	回答数	構成比
1 自分の生活上、利用する必要がある	891	87.7%
2 施設がある場所が不便であり、行きづらい	6	0.6%
3 開館日時が合わない	9	0.9%
4 施設の利用料、使用料等の料金が安い	3	0.3%
5 サービスや設備に魅力がない	8	0.8%
6 施設があることを知らない	47	4.6%
7 その他	28	2.8%
回答母数	1,016	100.0%

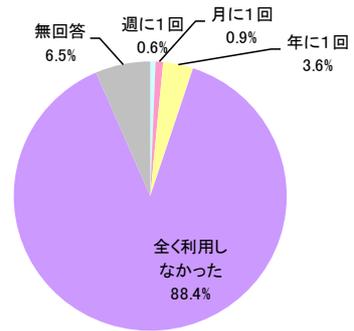


3. 保健福祉施設

(3) 老人憩の家

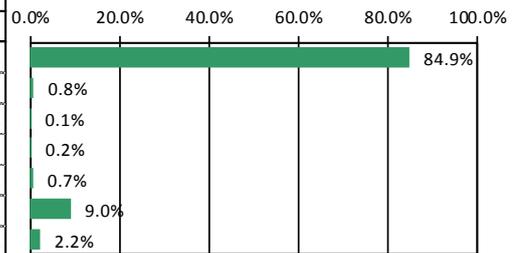
	全体	
	回答数	構成比
1 週に1回から数回利用した	7	0.6%
2 月に1回から数回利用した	10	0.9%
3 年に1回から数回利用した	40	3.6%
4 全く利用しなかった	991	88.4%
- 無回答	73	6.5%
計	1,121	100.0%

問7(3)へ



【複数回答】

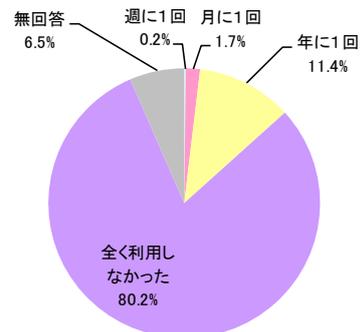
	全体	
	回答数	構成比
1 自分の生活上、利用する必要がない	875	84.9%
2 施設がある場所が不便であり、行きづらい	8	0.8%
3 開館日時が合わない	1	0.1%
4 施設の利用料、使用料等の料金が安い	2	0.2%
5 サービスや設備に魅力がない	7	0.7%
6 施設があることを知らない	93	9.0%
7 その他	23	2.2%
回答母数	1,031	100.0%



(4) 保健センター

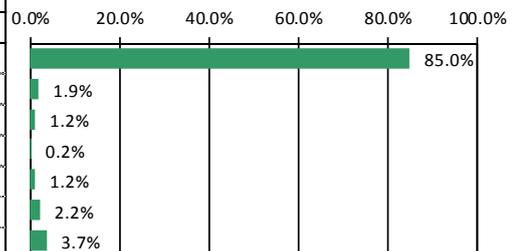
	全体	
	回答数	構成比
1 週に1回から数回利用した	2	0.2%
2 月に1回から数回利用した	19	1.7%
3 年に1回から数回利用した	128	11.4%
4 全く利用しなかった	899	80.2%
- 無回答	73	6.5%
計	1,121	100.0%

問7(4)へ



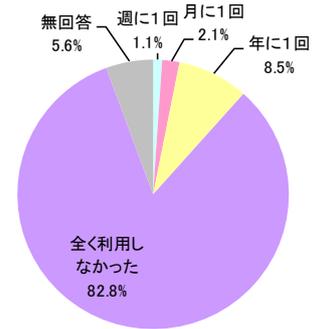
【複数回答】

	全体	
	回答数	構成比
1 自分の生活上、利用する必要がない	873	85.0%
2 施設がある場所が不便であり、行きづらい	20	1.9%
3 開館日時が合わない	12	1.2%
4 施設の利用料、使用料等の料金が安い	2	0.2%
5 サービスや設備に魅力がない	12	1.2%
6 施設があることを知らない	23	2.2%
7 その他	38	3.7%
回答母数	1,027	100.0%



(5) 中高年齢労働者福祉センター（サンライフ防府）

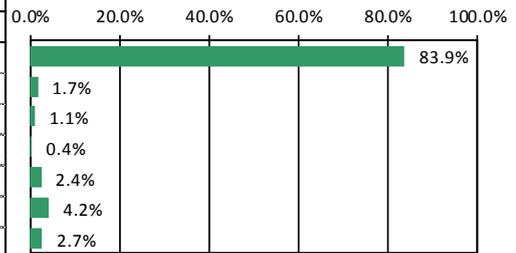
	全体	
	回答数	構成比
1 週に1回から数回利用した	12	1.1%
2 月に1回から数回利用した	23	2.1%
3 年に1回から数回利用した	95	8.5%
4 全く利用しなかった	928	82.8%
- 無回答	63	5.6%
計	1,121	100.0%



問7(5)へ

【複数回答】

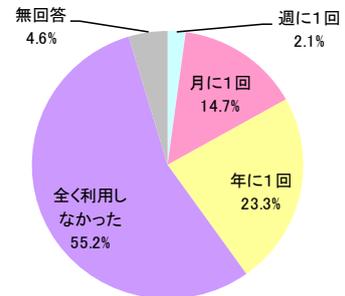
	全体	
	回答数	構成比
1 自分の生活上、利用する必要がない	858	83.9%
2 施設がある場所が不便であり、行きづらい	17	1.7%
3 開館日時が合わない	11	1.1%
4 施設の利用料、使用料等の料金が安い	4	0.4%
5 サービスや設備に魅力がない	25	2.4%
6 施設があることを知らない	43	4.2%
7 その他	28	2.7%
回答母数	1,023	100.0%



4. 社会教育系施設

(6) 図書館

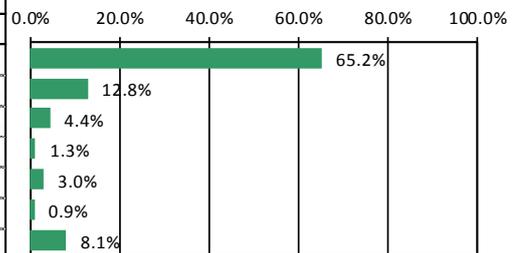
	全体	
	回答数	構成比
1 週に1回から数回利用した	24	2.1%
2 月に1回から数回利用した	165	14.7%
3 年に1回から数回利用した	261	23.3%
4 全く利用しなかった	619	55.2%
- 無回答	52	4.6%
計	1,121	100.0%



問7(6)へ

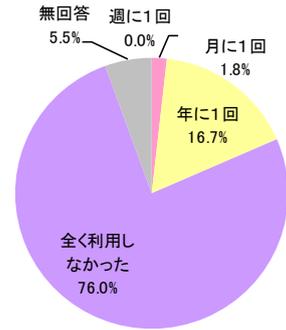
【複数回答】

	全体	
	回答数	構成比
1 自分の生活上、利用する必要がない	574	65.2%
2 施設がある場所が不便であり、行きづらい	113	12.8%
3 開館日時が合わない	39	4.4%
4 施設の利用料、使用料等の料金が安い	11	1.3%
5 サービスや設備に魅力がない	26	3.0%
6 施設があることを知らない	8	0.9%
7 その他	71	8.1%
回答母数	880	100.0%



(7) 青少年科学館 (ソラール)

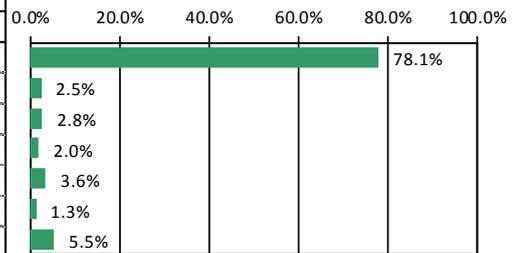
	全体	
	回答数	構成比
1 週に1回から数回利用した	0	0.0%
2 月に1回から数回利用した	20	1.8%
3 年に1回から数回利用した	187	16.7%
4 全く利用しなかった	852	76.0%
- 無回答	62	5.5%
計	1,121	100.0%



問7(7)へ

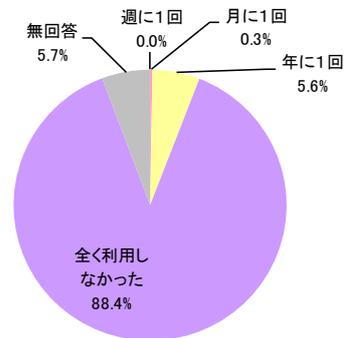
【複数回答】

	全体	
	回答数	構成比
1 自分の生活上、利用する必要がない	811	78.1%
2 施設がある場所が不便であり、行きづらい	26	2.5%
3 開館日時が合わない	29	2.8%
4 施設の利用料、使用料等の料金が安い	21	2.0%
5 サービスや設備に魅力がない	37	3.6%
6 施設があることを知らない	14	1.3%
7 その他	57	5.5%
回答母数	1,039	100.0%



(8) 文化財郷土資料館

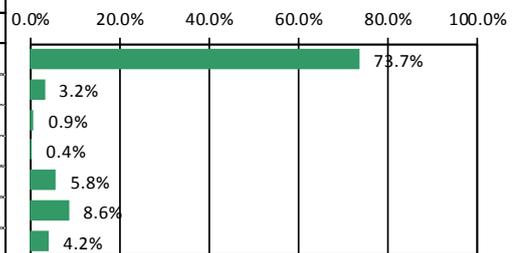
	全体	
	回答数	構成比
1 週に1回から数回利用した	0	0.0%
2 月に1回から数回利用した	3	0.3%
3 年に1回から数回利用した	63	5.6%
4 全く利用しなかった	991	88.4%
- 無回答	64	5.7%
計	1,121	100.0%



問7(8)へ

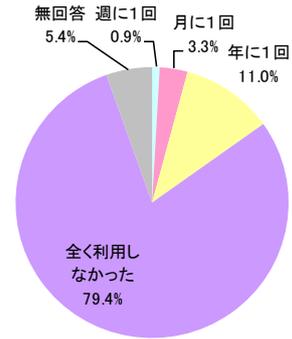
【複数回答】

	全体	
	回答数	構成比
1 自分の生活上、利用する必要がない	777	73.7%
2 施設がある場所が不便であり、行きづらい	34	3.2%
3 開館日時が合わない	9	0.9%
4 施設の利用料、使用料等の料金が安い	4	0.4%
5 サービスや設備に魅力がない	61	5.8%
6 施設があることを知らない	91	8.6%
7 その他	44	4.2%
回答母数	1,054	100.0%



(9) 文化福祉会館（文化センター、勤労青少年ホーム）

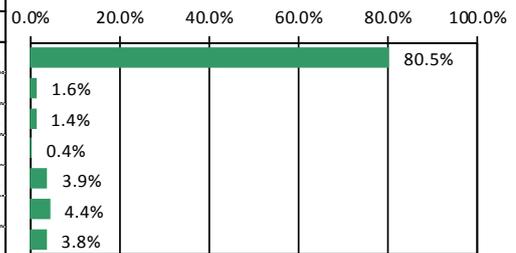
	全体	
	回答数	構成比
1 週に1回から数回利用した	10	0.9%
2 月に1回から数回利用した	37	3.3%
3 年に1回から数回利用した	123	11.0%
4 全く利用しなかった	890	79.4%
- 無回答	61	5.4%
計	1,121	100.0%



問7(9)へ

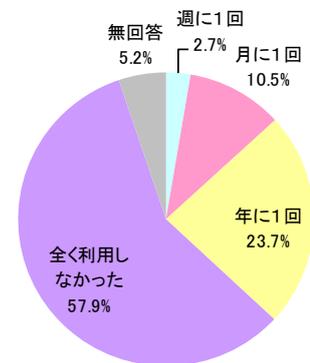
【複数回答】

	全体	
	回答数	構成比
1 自分の生活上、利用する必要がない	815	80.5%
2 施設がある場所が不便であり、行きづらい	16	1.6%
3 開館日時が合わない	14	1.4%
4 施設の利用料、使用料等の料金が低い	4	0.4%
5 サービスや設備に魅力がない	40	3.9%
6 施設があることを知らない	45	4.4%
7 その他	38	3.8%
回答母数	1,013	100.0%



(10) 公民館

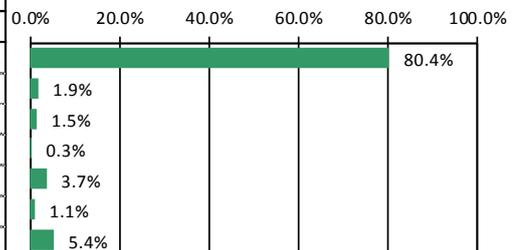
	全体	
	回答数	構成比
1 週に1回から数回利用した	30	2.7%
2 月に1回から数回利用した	118	10.5%
3 年に1回から数回利用した	266	23.7%
4 全く利用しなかった	649	57.9%
- 無回答	58	5.2%
計	1,121	100.0%



問7(10)へ

【複数回答】

	全体	
	回答数	構成比
1 自分の生活上、利用する必要がない	736	80.4%
2 施設がある場所が不便であり、行きづらい	17	1.9%
3 開館日時が合わない	14	1.5%
4 施設の利用料、使用料等の料金が低い	3	0.3%
5 サービスや設備に魅力がない	34	3.7%
6 施設があることを知らない	10	1.1%
7 その他	49	5.4%
回答母数	915	100.0%

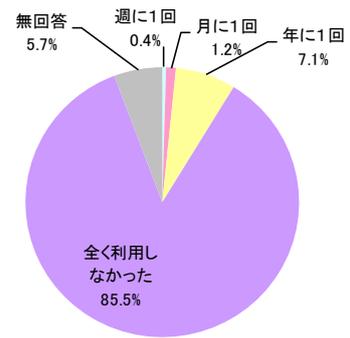


5. スポーツ・レクリエーション施設

(11) スポーツセンター陸上競技場

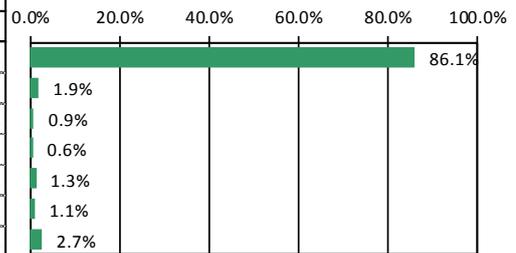
	全体	
	回答数	構成比
1 週に1回から数回利用した	5	0.4%
2 月に1回から数回利用した	13	1.2%
3 年に1回から数回利用した	80	7.1%
4 全く利用しなかった	959	85.5%
- 無回答	64	5.7%
計	1,121	100.0%

問7(11)へ



【複数回答】

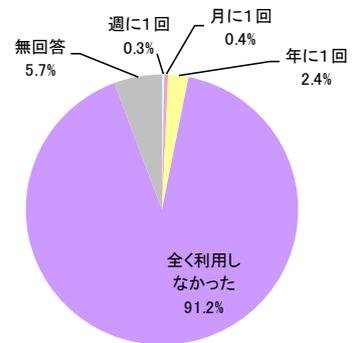
	全体	
	回答数	構成比
1 自分の生活上、利用する必要がない	895	86.1%
2 施設がある場所が不便であり、行きづらい	20	1.9%
3 開館日時が合わない	9	0.9%
4 施設の利用料、使用料等の料金が低い	6	0.6%
5 サービスや設備に魅力がない	14	1.3%
6 施設があることを知らない	11	1.1%
7 その他	28	2.7%
回答母数	1,039	100.0%



(12) スポーツセンター武道館

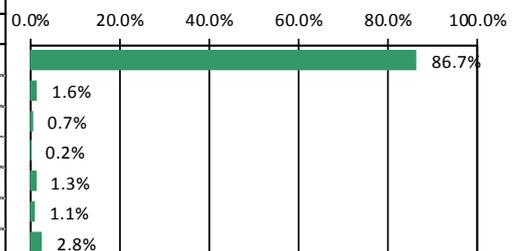
	全体	
	回答数	構成比
1 週に1回から数回利用した	3	0.3%
2 月に1回から数回利用した	5	0.4%
3 年に1回から数回利用した	27	2.4%
4 全く利用しなかった	1,022	91.2%
- 無回答	64	5.7%
計	1,121	100.0%

問7(12)へ



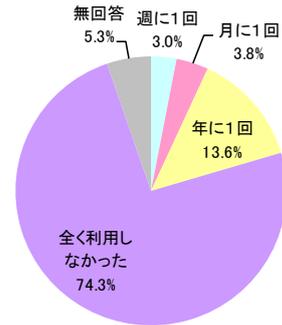
【複数回答】

	全体	
	回答数	構成比
1 自分の生活上、利用する必要がない	909	86.7%
2 施設がある場所が不便であり、行きづらい	17	1.6%
3 開館日時が合わない	7	0.7%
4 施設の利用料、使用料等の料金が低い	2	0.2%
5 サービスや設備に魅力がない	14	1.3%
6 施設があることを知らない	12	1.1%
7 その他	29	2.8%
回答母数	1,049	100.0%



(13) スポーツセンター体育館 (ソルトアリーナ)

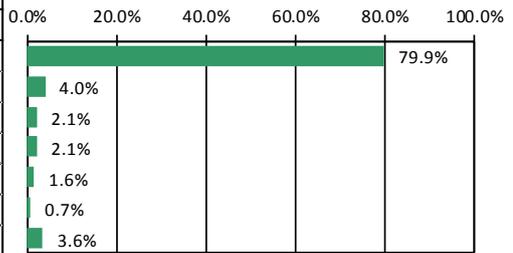
	全体	
	回答数	構成比
1 週に1回から数回利用した	34	3.0%
2 月に1回から数回利用した	43	3.8%
3 年に1回から数回利用した	152	13.6%
4 全く利用しなかった	833	74.3%
- 無回答	59	5.3%
計	1,121	100.0%



問7(13)へ

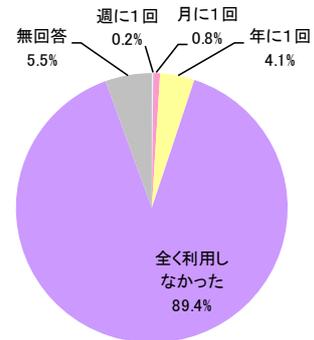
【複数回答】

	全体	
	回答数	構成比
1 自分の生活上、利用する必要がない	787	79.9%
2 施設がある場所が不便であり、行きづらい	39	4.0%
3 開館日時が合わない	21	2.1%
4 施設の利用料、使用料等の料金が安い	21	2.1%
5 サービスや設備に魅力がない	16	1.6%
6 施設があることを知らない	7	0.7%
7 その他	35	3.6%
回答母数	985	100.0%



(14) スポーツセンター野球場

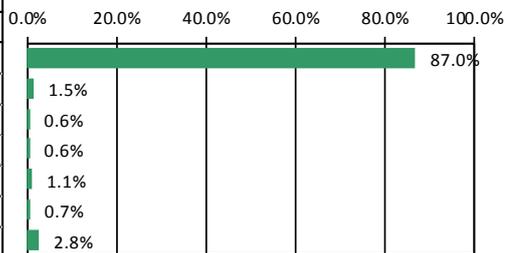
	全体	
	回答数	構成比
1 週に1回から数回利用した	2	0.2%
2 月に1回から数回利用した	9	0.8%
3 年に1回から数回利用した	46	4.1%
4 全く利用しなかった	1,002	89.4%
- 無回答	62	5.5%
計	1,121	100.0%



問7(14)へ

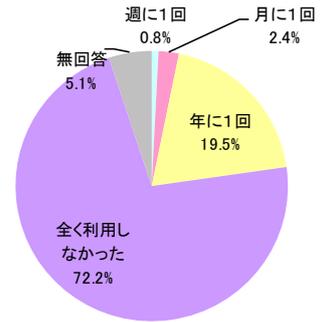
【複数回答】

	全体	
	回答数	構成比
1 自分の生活上、利用する必要がない	912	87.0%
2 施設がある場所が不便であり、行きづらい	16	1.5%
3 開館日時が合わない	6	0.6%
4 施設の利用料、使用料等の料金が安い	6	0.6%
5 サービスや設備に魅力がない	12	1.1%
6 施設があることを知らない	7	0.7%
7 その他	29	2.8%
回答母数	1,048	100.0%



(15) 向島運動公園

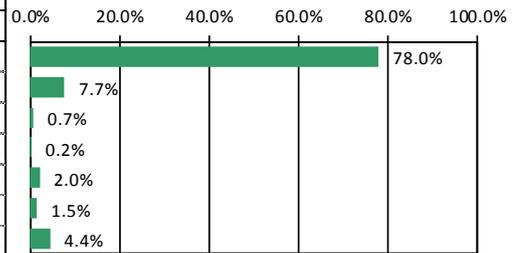
	全体	
	回答数	構成比
1 週に1回から数回利用した	9	0.8%
2 月に1回から数回利用した	27	2.4%
3 年に1回から数回利用した	219	19.5%
4 全く利用しなかった	809	72.2%
- 無回答	57	5.1%
計	1,121	100.0%



問7(15)へ

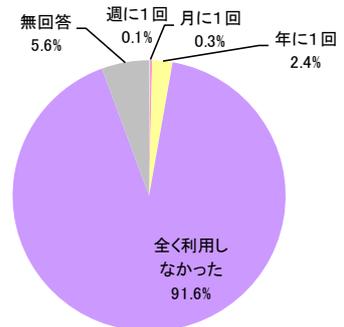
【複数回答】

	全体	
	回答数	構成比
1 自分の生活上、利用する必要がない	802	78.0%
2 施設がある場所が不便であり、行きづらい	79	7.7%
3 開館日時が合わない	7	0.7%
4 施設の利用料、使用料等の料金が低い	2	0.2%
5 サービスや設備に魅力がない	21	2.0%
6 施設があることを知らない	15	1.5%
7 その他	45	4.4%
回答母数	1,028	100.0%



(16) サイクリングターミナル

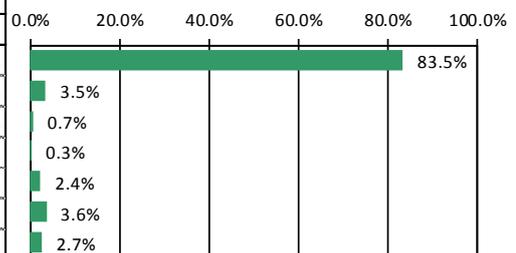
	全体	
	回答数	構成比
1 週に1回から数回利用した	1	0.1%
2 月に1回から数回利用した	3	0.3%
3 年に1回から数回利用した	27	2.4%
4 全く利用しなかった	1,027	91.6%
- 無回答	63	5.6%
計	1,121	100.0%



問7(16)へ

【複数回答】

	全体	
	回答数	構成比
1 自分の生活上、利用する必要がない	880	83.5%
2 施設がある場所が不便であり、行きづらい	37	3.5%
3 開館日時が合わない	7	0.7%
4 施設の利用料、使用料等の料金が低い	3	0.3%
5 サービスや設備に魅力がない	25	2.4%
6 施設があることを知らない	38	3.6%
7 その他	28	2.7%
回答母数	1,054	100.0%

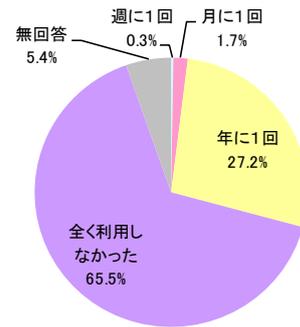


6. 市民文化系施設

(17) 公会堂

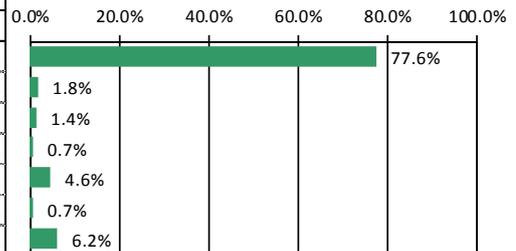
	全体	
	回答数	構成比
1 週に1回から数回利用した	3	0.3%
2 月に1回から数回利用した	19	1.7%
3 年に1回から数回利用した	305	27.2%
4 全く利用しなかった	734	65.5%
- 無回答	60	5.4%
計	1,121	100.0%

問7(17)へ



【複数回答】

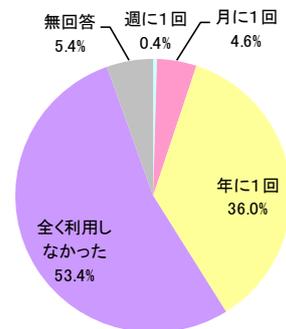
	全体	
	回答数	構成比
1 自分の生活上、利用する必要がない	806	77.6%
2 施設がある場所が不便であり、行きづらい	19	1.8%
3 開館日時が合わない	15	1.4%
4 施設の利用料、使用料等の料金が安い	7	0.7%
5 サービスや設備に魅力がない	48	4.6%
6 施設があることを知らない	7	0.7%
7 その他	64	6.2%
回答母数	1,039	100.0%



(18) 地域交流センター（アスピラート）

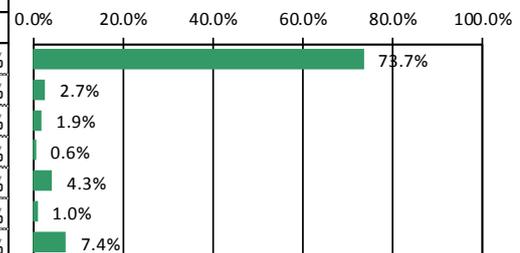
	全体	
	回答数	構成比
1 週に1回から数回利用した	5	0.4%
2 月に1回から数回利用した	52	4.6%
3 年に1回から数回利用した	404	36.0%
4 全く利用しなかった	599	53.4%
- 無回答	61	5.4%
計	1,121	100.0%

問7(18)へ



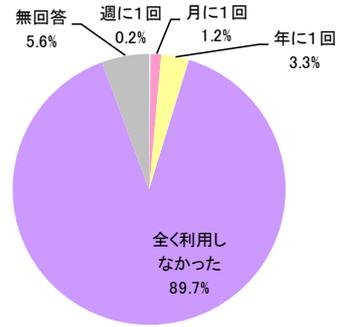
【複数回答】

	全体	
	回答数	構成比
1 自分の生活上、利用する必要がない	739	73.7%
2 施設がある場所が不便であり、行きづらい	27	2.7%
3 開館日時が合わない	19	1.9%
4 施設の利用料、使用料等の料金が安い	6	0.6%
5 サービスや設備に魅力がない	43	4.3%
6 施設があることを知らない	10	1.0%
7 その他	74	7.4%
回答母数	1,003	100.0%



(19) 地域協働支援センター

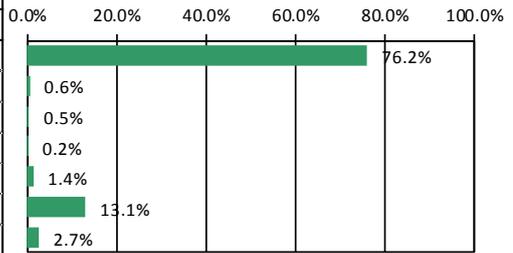
	全体	
	回答数	構成比
1 週に1回から数回利用した	2	0.2%
2 月に1回から数回利用した	14	1.2%
3 年に1回から数回利用した	37	3.3%
4 全く利用しなかった	1,005	89.7%
- 無回答	63	5.6%
計	1,121	100.0%



問7(19)へ

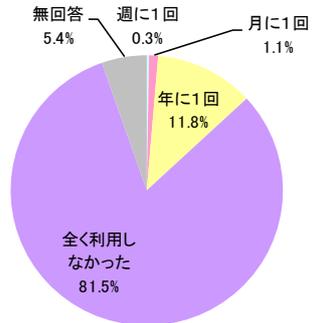
【複数回答】

	全体	
	回答数	構成比
1 自分の生活上、利用する必要がない	794	76.2%
2 施設がある場所が不便であり、行きづらい	6	0.6%
3 開館日時が合わない	5	0.5%
4 施設の利用料、使用料等の料金が安い	2	0.2%
5 サービスや設備に魅力がない	15	1.4%
6 施設があることを知らない	137	13.1%
7 その他	28	2.7%
回答母数	1,042	100.0%



(20) 天神ピア

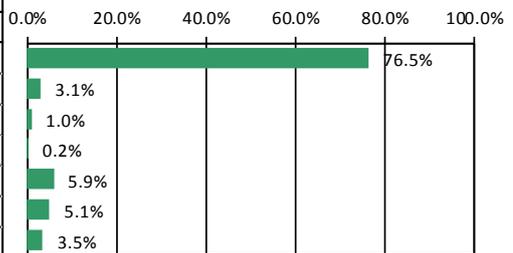
	全体	
	回答数	構成比
1 週に1回から数回利用した	3	0.3%
2 月に1回から数回利用した	12	1.1%
3 年に1回から数回利用した	132	11.8%
4 全く利用しなかった	914	81.5%
- 無回答	60	5.4%
計	1,121	100.0%



問7(20)へ

【複数回答】

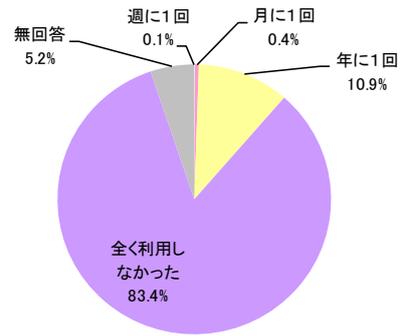
	全体	
	回答数	構成比
1 自分の生活上、利用する必要がない	800	76.5%
2 施設がある場所が不便であり、行きづらい	32	3.1%
3 開館日時が合わない	10	1.0%
4 施設の利用料、使用料等の料金が安い	2	0.2%
5 サービスや設備に魅力がない	62	5.9%
6 施設があることを知らない	53	5.1%
7 その他	37	3.5%
回答母数	1,046	100.0%



7. 医療施設

(21) 休日診療所

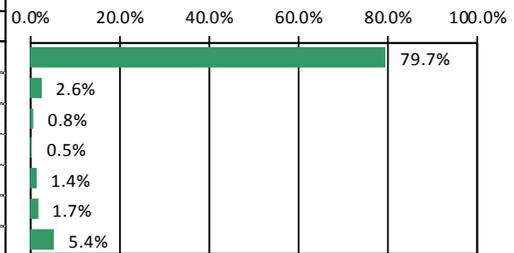
	全体	
	回答数	構成比
1 週に1回から数回利用した	1	0.1%
2 月に1回から数回利用した	5	0.4%
3 年に1回から数回利用した	122	10.9%
4 全く利用しなかった	935	83.4%
- 無回答	58	5.2%
計	1,121	100.0%



問7(21)へ

【複数回答】

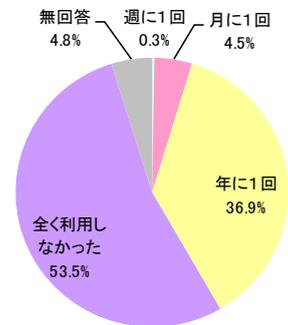
	全体	
	回答数	構成比
1 自分の生活上、利用する必要がない	842	79.7%
2 施設がある場所が不便であり、行きづらい	27	2.6%
3 開館日時が合わない	8	0.8%
4 施設の利用料、使用料等の料金が安い	5	0.5%
5 サービスや設備に魅力がない	15	1.4%
6 施設があることを知らない	18	1.7%
7 その他	57	5.4%
回答母数	1,057	100.0%



8. 観光施設

(22) まちの駅（うめてらす）

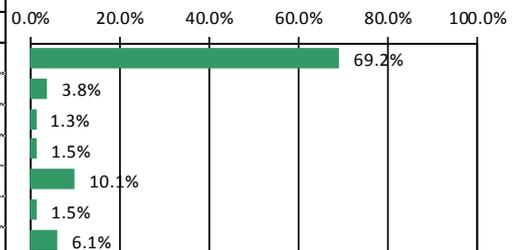
	全体	
	回答数	構成比
1 週に1回から数回利用した	3	0.3%
2 月に1回から数回利用した	50	4.5%
3 年に1回から数回利用した	414	36.9%
4 全く利用しなかった	600	53.5%
- 無回答	54	4.8%
計	1,121	100.0%



問7(22)へ

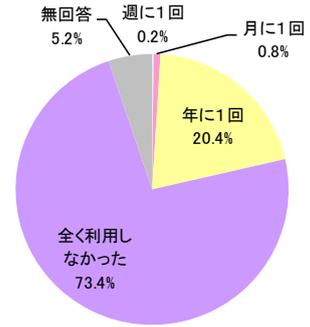
【複数回答】

	全体	
	回答数	構成比
1 自分の生活上、利用する必要がない	702	69.2%
2 施設がある場所が不便であり、行きづらい	39	3.8%
3 開館日時が合わない	13	1.3%
4 施設の利用料、使用料等の料金が安い	15	1.5%
5 サービスや設備に魅力がない	102	10.1%
6 施設があることを知らない	15	1.5%
7 その他	62	6.1%
回答母数	1,014	100.0%



(23) 大平山索道 (大平山ロープウェイ)

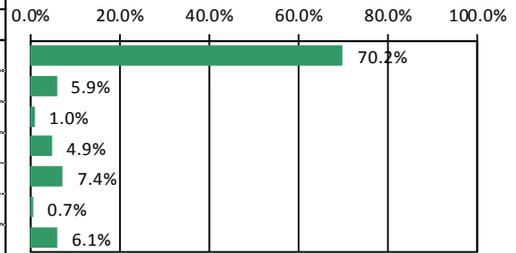
	全体	
	回答数	構成比
1 週に1回から数回利用した	2	0.2%
2 月に1回から数回利用した	9	0.8%
3 年に1回から数回利用した	229	20.4%
4 全く利用しなかった	823	73.4%
- 無回答	58	5.2%
計	1,121	100.0%



問7(23)へ

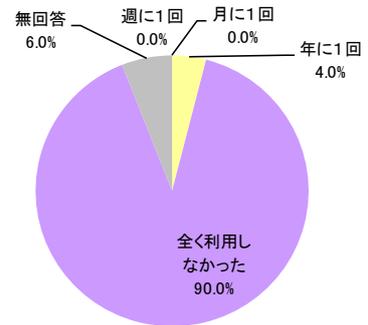
【複数回答】

	全体	
	回答数	構成比
1 自分の生活上、利用する必要がない	738	70.2%
2 施設がある場所が不便であり、行きづらい	62	5.9%
3 開館日時が合わない	11	1.0%
4 施設の利用料、使用料等の料金が低い	52	4.9%
5 サービスや設備に魅力がない	78	7.4%
6 施設があることを知らない	7	0.7%
7 その他	64	6.1%
回答母数	1,052	100.0%



(24) 三田尻塩田記念産業公園

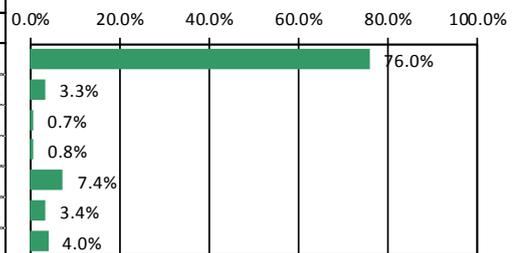
	全体	
	回答数	構成比
1 週に1回から数回利用した	0	0.0%
2 月に1回から数回利用した	0	0.0%
3 年に1回から数回利用した	45	4.0%
4 全く利用しなかった	1,009	90.0%
- 無回答	67	6.0%
計	1,121	100.0%



問7(24)へ

【複数回答】

	全体	
	回答数	構成比
1 自分の生活上、利用する必要がない	801	76.0%
2 施設がある場所が不便であり、行きづらい	35	3.3%
3 開館日時が合わない	7	0.7%
4 施設の利用料、使用料等の料金が低い	8	0.8%
5 サービスや設備に魅力がない	78	7.4%
6 施設があることを知らない	36	3.4%
7 その他	42	4.0%
回答母数	1,054	100.0%

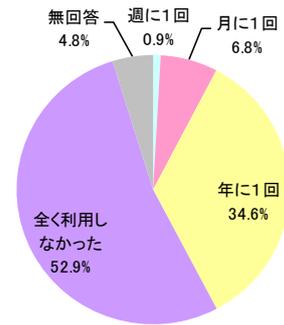


9. 産業系施設

(25) 総合交流施設（潮彩市場防府）

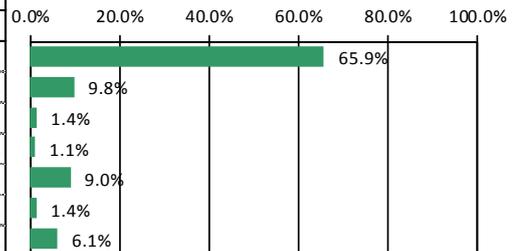
	全体	
	回答数	構成比
1 週に1回から数回利用した	10	0.9%
2 月に1回から数回利用した	76	6.8%
3 年に1回から数回利用した	388	34.6%
4 全く利用しなかった	593	52.9%
- 無回答	54	4.8%
計	1,121	100.0%

問7(25)へ



【複数回答】

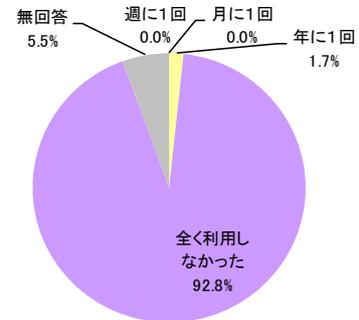
	全体	
	回答数	構成比
1 自分の生活上、利用する必要がある	646	65.9%
2 施設がある場所が不便であり、行きづらい	96	9.8%
3 開館日時が合わない	14	1.4%
4 施設の利用料、使用料等の料金が安い	11	1.1%
5 サービスや設備に魅力がない	88	9.0%
6 施設があることを知らない	14	1.4%
7 その他	60	6.1%
回答母数	981	100.0%



(26) 防府地域職業訓練センター

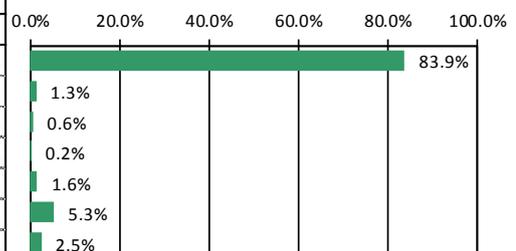
	全体	
	回答数	構成比
1 週に1回から数回利用した	0	0.0%
2 月に1回から数回利用した	0	0.0%
3 年に1回から数回利用した	19	1.7%
4 全く利用しなかった	1,040	92.8%
- 無回答	62	5.5%
計	1,121	100.0%

問7(26)へ



【複数回答】

	全体	
	回答数	構成比
1 自分の生活上、利用する必要がある	888	83.9%
2 施設がある場所が不便であり、行きづらい	14	1.3%
3 開館日時が合わない	6	0.6%
4 施設の利用料、使用料等の料金が安い	2	0.2%
5 サービスや設備に魅力がない	17	1.6%
6 施設があることを知らない	56	5.3%
7 その他	26	2.5%
回答母数	1,059	100.0%

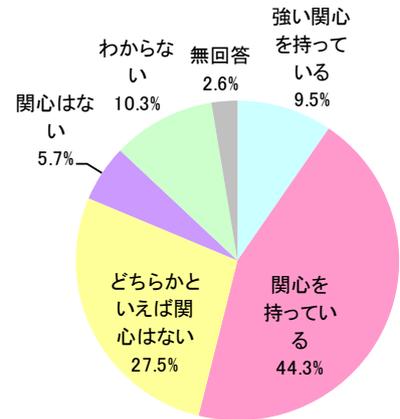


問8. 充実を求める公共サービス→本文P15参照

問9. あなたは、「防府市の公共施設を取り巻く状況(老朽化問題、将来費用)」について、どのくらい関心をお持ちですか。あてはまる番号1つを選んで○をつけてください。

防府市の公共施設を取り巻く状況に対しては、回答者の5割強が関心を持っている（「強い関心を持っている」、「関心を持っている」）。

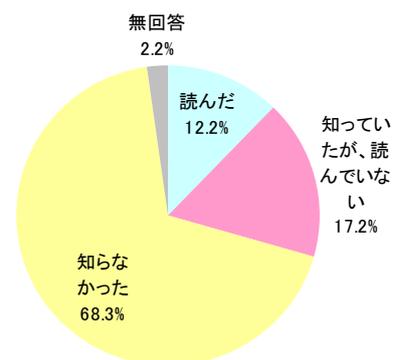
	全体	
	回答数	構成比
1 強い関心を持っている	107	9.5%
2 関心を持っている	497	44.3%
3 どちらかといえば関心はない	308	27.5%
4 関心はない	64	5.7%
5 わからない	116	10.3%
- 無回答	29	2.6%
回答数	1,121	100.0%



問10. 公共施設のサービス、施設の老朽化、管理運営、コストなどの客観的な情報を整理・分析し、公共施設の最適化に向けた今後のあり方を検討するための基礎資料としてまとめた「防府市公共施設白書」をご存知ですか。あてはまる番号1つを選んで○をつけてください。

「防府市公共施設白書」を知っていた回答者が約3割で、そのうち読んだ回答者は10%強となっている。

	全体	
	回答数	構成比
1 読んだ	137	12.2%
2 知っていたが、読んでいない	193	17.2%
3 知らなかった	766	68.3%
- 無回答	25	2.2%
回答数	1,121	100.0%



問11. 公共施設の在り方→本文P15参照

問12. 公共施設の縮減について→本文P16参照

問13. 受益者負担について→本文P16参照

問14. 公共施設の維持のための方策について→本文P17参照

3 公共施設マネジメント基本方針（素案）に関する地域説明会の実施結果

(1) 開催日程

地域	日程	開催場所
華城	平成 26 年 11 月 17 日（月）	華城公民館
富海		富海公民館
勝間		勝間公民館
佐波	11 月 18 日（火）	佐波公民館
向島		向島公民館
西浦		西浦公民館
新田	11 月 19 日（水）	新田公民館
松崎		松崎公民館
大道		大道公民館
華浦	11 月 20 日（木）	華浦公民館
小野		小野公民館
右田	11 月 25 日（火）	右田公民館
牟礼		牟礼公民館
中関		中関公民館
野島	11 月 28 日（金）	野島漁村センター

【参加者合計77人】

(2) 主な意見

公共施設マネジメントの進め方について
<ul style="list-style-type: none"> ・公共施設のマネジメントを行うには良い時期だと思う。例えば、公民館をはじめとする機能集約を行うことなどについても、行政側は組織の縦割りではなく、施設所管課と連携をしっかりとって進めてほしい。 ・行政と地域をどうつなぐかが課題であり、今回のように地域の生の声を聞く機会や施設を主に使用する人との話し合いなどを設けていく必要がある。 ・公共施設の”効率化”のみを主張するのではなく、地域を維持するための視点も含めてマネジメントを行うべきである。 ・現在の状況下で、集約化や統廃合を判断するのではなく、将来のまちづくりを考えてマネジメントを進めていくべきである。 ・隣接地域との連携や地域を合併することなども考慮し、マネジメントを効率的に進めていく必要がある。
公共施設の在り方について
<ul style="list-style-type: none"> ・施設のランニングコストを下げるためには、指定管理者制度による管理を拡大していく必要がある。小さな施設についても同様である。 ・統廃合を行うことにより発生する余剰建物を将来どのように有効利用するのかというところを市民にわかりやすく伝えてほしい。 ・適正な受益者負担を設定したほうがよい。 ・防府市は車社会であるため、施設には駐車場が必要である。

- ・高齢化が進む中、公共施設は公共交通の近くにあると良い。主な集客施設には、バス路線や停留所が必要である。
- ・整備されたときは必要な施設であったと思うが、現在その施設が本当に機能しているか検証する必要がある。

各施設について

[学校施設]

- ・教育施設の建替えは、人口状況を見ながらやる必要がある。将来、学校に公民館が移ってもいいように、設計の段階から多目的に使えるような間仕切りなどを考えて進めていく必要がある。
- ・耐震改修等は、将来児童がいなくなった場合、それが無駄な投資となってしまう。そのあたりのバランスは十分検討された上で取り組まれているのか。
- ・長期避難できるのは小中学校くらいしかないため、建替えの際には避難したときに使えるようなスペースが確保できるよう整備してほしい。

[老人憩の家]

- ・稼働率がかなり低く、公民館や学習会館などに集約したほうがいい。
- ・一部の人の為の公民館になっているような状況である。また、市民自体がどういうことに使っているのかが、わかっていない。

[その他]

- ・体育館やクリーンセンターなど、比較的大きい施設の維持管理費の削減が重要である。
- ・休日診療所は、市内の開業医に輪番で担当してもらえば事足りる。必要なのは夜間診療所だと思う。
- ・市役所の建替えは、市民の要望は組み入れられるのか。
- ・新しい図書館は、ゆっくり利用する場合は駐車場料金が発生してしまう。このような状況ではせっかくの施設も利用者が減ってしまうので、無料化を検討してもらいたい。
- ・市民ニーズからすると、出張所よりも公民館機能を充実させるべき。
- ・サイクリングターミナルは、利用対象者がわかりにくく、市民にあまり利用されていないが、市が提供する必要がある施設なのか。

市政について

- ・地方公共団体には減価償却引当金がないのか。将来を見越した整備基金を積み立てないといけないと思う。
- ・市全体として現実に即した土地利用計画が必要。いかにして若い人に防府に住んでもらうかが重要だと思う。
- ・市の財政が今後厳しくなることは理解できるので、市民としても応分の負担は覚悟しなくてはならないと思っている。

その他

- ・野島地域は過去に、小学校の一部を保育所として活用する地域案があり、その当時は行政の縦割り弊害などにより実現しなかった。この地域は公共施設マネジメントの先進地的な発想をもって離島が生き残れるようないろいろな策を講じてきた。地域の声をしっかり聞いてほしい。

4 公共施設マネジメント基本方針（素案）に関するパブリックコメントの実施結果

(1) 意見募集期間

平成 26 年 11 月 26 日（水）～12 月 26 日（金）

(2) 意見募集の方法

- ・周知方法：市広報 11 月 15 日号及び市ホームページにおいて周知
- ・閲覧方法：市ホームページへの掲載、市役所行政経営改革課（4 号館 3 階）、市役所閲覧コーナー（1 号館 1 階子育て支援課前）、各出張所、各公民館、生涯学習課（市文化福社会館内）、地域協働支援センター（ルルサス防府 2 階）への設置
- ・意見提出方法：閲覧場所への持参、郵送、F A X 又は E メール

(3) 提出された意見

意見数：0 件